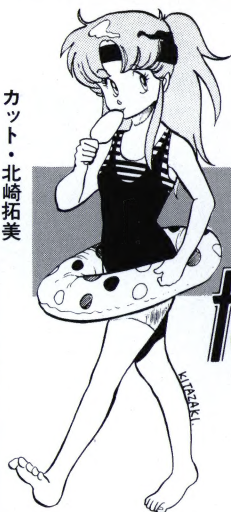


模型情報7月号 昭和60年7月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第7号通巻71号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可
Monthly BANDAI Making Journal
模型情報®
7
1985
100yen
見本市記念特大号
見本市バンダイだけレポート
多次元特別座談会
スパイラルゾーン
人材企画発表
表紙イラストレーション
開　田　裕　治



カット・北崎拓美

MJ FoRUM July

1/48用も作ってほしいプラキャタピラ



AFVファンには涙ものの商品が発売された。それは、モデルカステンというところから発売されたもので、1/35パンサー用プラキャタピラがそれ。AFVキットの弱点でもないんだけど、ポリキャタピラはいまいちリアルさに欠けるというファンには最高です。値段は2800円と少々高い気もするが、リアルさには換えられないというAFVは必見の価値ありお問い合わせは（03・235・2761）アートボックスまで。

パッケージだけでもほしい記念プラモ

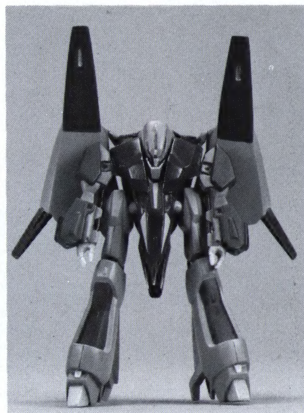
完成間近の「魔法のプリンセス・ミンキーモモ／夢の中の輪舞」だが、発売記念キャンペーンが、いろいろと行なわれている。模型ファンが注目しなければいけないのは、その記念品の中の「1/12ミンキーモモ」のプラモデル。

このキットは、以前バンダイから発売されたものなのだが、パッケージが新しいデザインになっている。

このキットを手に入れる方法は、MJの裏表紙を見て「南のまん中クイズ」に応募してもらうか「フェナリナーサ・サミット」に参加するかですが、詳しい事は、ビクターのアニメ情報局（03・408・1994）に問い合わせてほしいとの事です。ウンの良い人はもらえます。



メッサーラは1/250武器セットも進行中



Zガンダムも、アムロやカツたち旧ホワイトベースのクルーたちが登場して、盛り上がってきましたね。

さて模型の方も着々と進行中なので商品化情報をお知らせしましょう。

まず、メッサーラなんですが、やはりサイズ的に、1/144は大きくなりすぎるということで1/250に決定しました。まあ、とりあえず1/250ですが、1/144は絶対やらないという事ではないので期待しましょう。

それから、武器セットが企画進行中。武器の設定は、設計が終了し、金型に入ってから上がってきたものが多くて、キットに入らなかったんですね。そこで、MkII用ハイパーバズーカ、ハイザック用ビームライフル、ヒートホーク、ミサイルポッド、リック・ディアス用ビームピストル等をセットにした武器セットを企画したのです。発売は秋頃になる予定。

さて、かんじんのMSの模型化進行状況はどうかといいますと、今月の表紙にもなったマラサイをはじめ、ジムII、ネモ、百式、ギャプラン等が設計進行中である。

基本スケールは1/144。Zガンダム他数点が1/100スケールでも模型化される予定となっている。

いつものパターンで年末には大型キットの可能性もあるのかしらね。

第2回ワンダーフェスティバル開催！



メーカーでは手を出さないマイナーアイテムだけど、どうしても手にしたいという人にとって、ガレージキットはありがたい存在です。そんなファンのために開かれたのが〝ワンダーフェスティバル〟ですが、第2回の開催が決定したそうです。

実施期日は、今夏8月10日（土曜日）11時〜17時。開場は前回と同じで、東京都立産業貿易センター5F（国鉄浜松町駅下車）

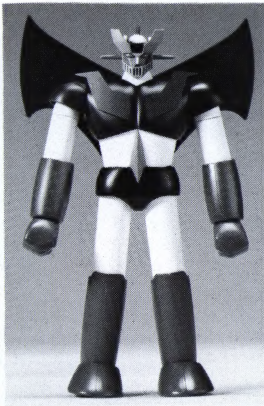
主催は、㈱ゼネラルプロダクツ（大阪市生野区桃谷1・5・6　TEL06・718・0588）

MJ編集部も、オリジナルのキットを作って参加しようかな。それともMJのバックナンバーでも売ろうかな。

旧鉄人28号が再販されるかもしれない！

新製品も良いけれど、懐かしのキットが突然ほしくなってしまって、頭の中がそのキットの事でいっぱいになってしまう。そんな事ってあるよね。そこでバンダイでは、再販が可能な旧キットの中から数点をピックアップして近日中に再販する事にしたのです。

今リストアップされているのは①旧鉄人28号、②ダルタニアス、③マジンガーZ、④ライディーン、⑤リアベスペシャル、⑥ウルトラホーク1号、⑦いとしのラムちゃん、⑧キラメキラムちゃん、⑨インターセプター、⑩スカイダイバーの10種。パッケージは当時のままの予定だそうですよ。



▲マジンガーZ

ビデオを見ながら読む!? 新型式のファンコレに期待







この所、毎月のように発売されているファンタスティック・コレクション（朝日ソノラマ刊）に、新型式のシリーズが誕生した。これは、ビデオ・ソフトで発売された作品の副読本的な役割をもつムックで、映像と活字の両方で楽しめるというもので、とりあえず「イナズマンF」（FC No.48）と「快傑ズバット」（FC No.49・定価共に、600円）の2冊が発売されている。

両作品共に、長らく再放送されていない傑作シリーズだが、その中から3作品をセレクトし、シナリオとフィルム・ストーリーで構成してある。「イナズマンF」は、ビデオ・ソフト化されていない傑作中の傑作なので作品研究の資料としても貴重だ。

朝日ソノラマでは、ファンコレ以外でも新型式の本が続々と企画・発売中で、宇宙船文庫の「ウルトラマン怪獣事典」と「ウルトラセブン怪獣事典」（安井尚志・酒井敏夫編・定価各580円）もその一つ。文庫サイズを効果的に使って、怪獣のデーターとストーリーで解説した新型式の「怪獣事典」だ。

菊池俊輔サウンドのBGMコレクション復活!

去年の11月21日に発売された「仮面ライダー、BGMコレクション」に続いて、早くも第2弾「仮面ライダーII」（コロムビア・定価2500円）が発売された。この第2集には、「仮面ライダーX」「仮面ライダー・アマゾン」「仮面ライダー・ストロンガー」の3作品より、それぞれの主題歌と代表的なBGMがセレクトして収録されていて、作曲した菊池俊輔の世界感がわかりやすく構成してある。

特に、最後には、「戦え！7人ライダー」のメロオケ、第1話と第2話、新番組スポットのみに使用された子門真人・堀江美都子版の「今日も戦うストロンガー」が収録されていて貴重だ。



これで、第1期「仮面ライダー」シリーズは完結するが、続く第3集が気になるね？

小品ながらキラリと光る傑作夏休み映画

「007」「マッドマックス」などのお馴染みシリーズが登場する夏休み映画の中で、小品ながらキラリと光る傑作が「未来警察」だ。

「アンドロメダ病原体」の原作者から「ウエストワールド」で映画監督へ転向したマイケル・クライトンの脚本・監督作品。近未来に起こるであろうロボット災害に対処する"ランナウェイ・スカッド（ロボット班）"の刑事を主人公に悪虐なロボット犯罪者との対決をスリリングに描写する。さすがに小説家あがりのクライトンの脚本は見事主演はTV「私立探偵マグナム」のトム・セレック。対する犯罪者ルーサーには"キッス"のジーン・シモンズ。



ファンコレに続く特撮ムックシリーズ開始す



スチール中心の編集で好評だった「スーパー・ビジュアル・スペシャル／特撮ヒロインベストセレクション」に続いて今度は、一作品の魅力を完全収録した「パーフェクト・マニュアル」がシリーズ化、徳間書店より発売された。

フィルム中心のファンコレに対し、スチール中心の編集で、ポートレートやメカのディテール研究には最適。

第1弾は、ファンコレでは16話までしか紹介できなかった「超電子バイオマン」（定価780円）を大特集6人のバイオマンのスチール（小泉ミカ・ファン必見！）はもちろん、出渕裕デザインのセンスの総カタログ、エピソードガイド、鈴木武幸プロデューサー・インタビューなど90ページの中に盛りだくさんの内容。

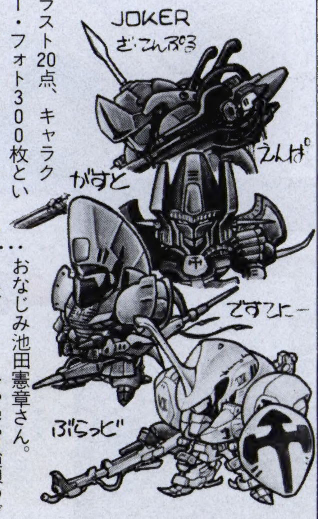
このシリーズは、売れ行き次第で次々と出る予定なので、みんなも協力しよう！

これ以上豪華な「エルガイム」本は考えられない

もう、鳥山劣さんのカルカチュアだけでも欲しくなってしまう「重戦機エルガイム」の超ゴーカ本「THE ART OF エルガイム」（徳間書店刊・定価1800円）が発売中だ。

永野護へビーメタル初期デザイン湖川友謙・大森英敏・北爪宏幸特別イラスト20点、キャラクター・フォト300枚というエルガイム・グラフィックの決定版で、編集は、文庫「わたしの名はギャブレー」が好評のおなじみ池田憲章さん。

ヘビーメタルや宇宙船類のディテール・アップのセル画も多量に収録されていますよ♡



第24回静岡プラモ見本市

●昭和60年5月24日〜26日（於：静岡産業会館）

恒例の静岡プラモ見本市が盛大に行なわれました。今年の後半、そして来年へとプラモデル業界はどんな流れとなるのでしょうか？いつもの通り、バンダイブースのみを詳しくレポートしました。今年後半の注目企画は、何と言っても〝スパイラルゾーン〟に決まり！かな。

BANDAIだけ REPORT





⬆スパイラルゾーンのブース、にぎやか

バンダイブースは、例年に比べさらに力のこもった見本市発表という感じがしましたね。

何といっても、一番の注目株はオリジナルSFの〝スパイラルゾーン〟という評価。MJ読者ならもうご存知の企画ですね。アニメにも映画にも頼らない、バンダイ独自のオリジナルSFワールドがスタートしたのです。

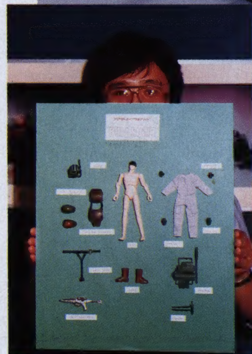
この企画の中心は、1／12のマルチ可動フィギュア。展示されていたものはすべて試作品（この試作品を作る時の苦労談はモデルグラフィックスの出張版で書いたので読んでね）

メカデザイン等、実に多くの人の協力を得て目下進行中です。伊藤和典氏によるMJの連載小説の行方に注目しましょう。

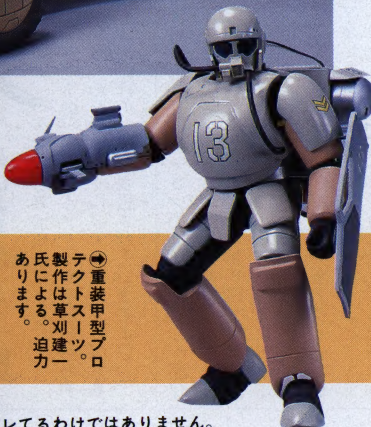
このスパイラルゾーンの商品が市場に出るのは、85年の秋となる予定だ。値段は未定だが、1／12可動フィギュア＋プロテクトスーツ＋バックパックの一式が約3000円程度になる予定だ。メカ類



➡岩瀬公人氏が製作したファットリンクス、1/12だとでかい！ラジコンカーにしたいメカです。



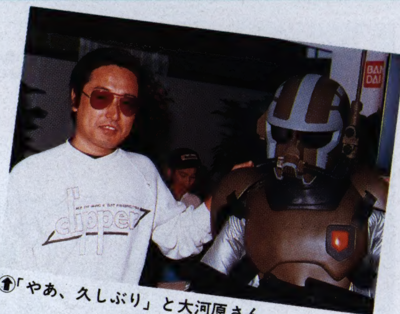
⬆企画担当者の末川君。べつにテレてるわけではありません。



➡重装甲型プロテクトスーツ。製作は草刈建一氏による。迫力あります。



➡マッドレミング。基本デザインは大河原邦男氏による。



⬆「やあ、久しぶり」と大河原さん。


➡Zガンダムは果して、完全変形はできるのでしょうか。

はさすがに大きくなるので、1／12での商品化は未定だが、遊びを拡げるためにはほしいところ。

さて次は、Zガンダムシリーズ。新製品開発が少々遅いとの声もありますが、今後の新製品企画はめじろ押しなのです。7月の1／100リック・ディアス、ガルバルディβに続き、マラサイ、ジムII、そしていよいよZガンダムの登場も迫ってきました。会場には、別冊Zガンダムにも掲載された、小林さんの百式をはじめとして、有名モデラーの作品がズラリ。見本市で見る事ができなかった皆さんは是非、別冊でご覧下さい。（宣伝してしまった）

好調、ロボチェン、パロチェンマンシリーズも新企画が発表された。まず、ウルトラマンやチェンジマン、狼男といったパロチェンマン。それからリック・ディアス、Zガンダムといったロボチェンマン。これだけ品種がふえてくると集めるのも気合いがいりますね。

さて、フィギュアファン待望のシリーズが企画中である。まだ詳しい事は未定であるが、1／6スケールでプリティフィギュアがラインナップされているのだ。予定では、服は布地を使用し、完成体として販売する事になっている。

候補となっているのは、ミンキーモモ、クリィミーマミ、ダーティペア、エマシーン、といったきれいどころ。君は、誰をフィギュア化してほしいかな。希望を言うなら今のうちですよ。何も言ってくれないと担当者の趣味に走ってしまいますよ。私の趣味は……フッフッフ。


➡シロッコが乗るメッサーラ。スケールは1／250です。


⬇看護婦さんスタイルのモモちゃん。かわいい♡

⬇フィギュアはどうなるかな。担当の小宮山君です。


⬇ズラリ並んだフィギュアの試作品。


➡にぎやかなロボ・パロチェンシリーズ。Zガンダムの登場も近い。


⬇企画担当の外岡君です。



⬆モデルグラフィックスに好評連載中。バイクのデザインがグッド。



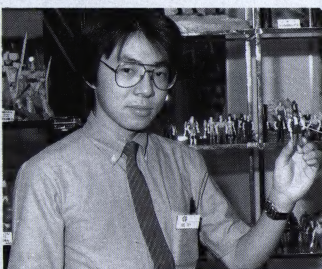
⬇左からパティ、ラビィ、ラミィの三人娘。かわいいね。

さて、カタログにも載せられない程、急に企画が決定したのが、モデルグラフィックスに好評連載中の〝ガルフォース〟。かわいい女の子が活躍するSFストーリーだ。

このメカデザインを担当しているのが、メガゾーン23、モスピーダ等の柿沼氏。キャラクターデザインは園田氏。

このガルフォースは、アニメ化の噂もあるので楽しみな企画である。詳しい事は、モデルグラフィックスで見てね。

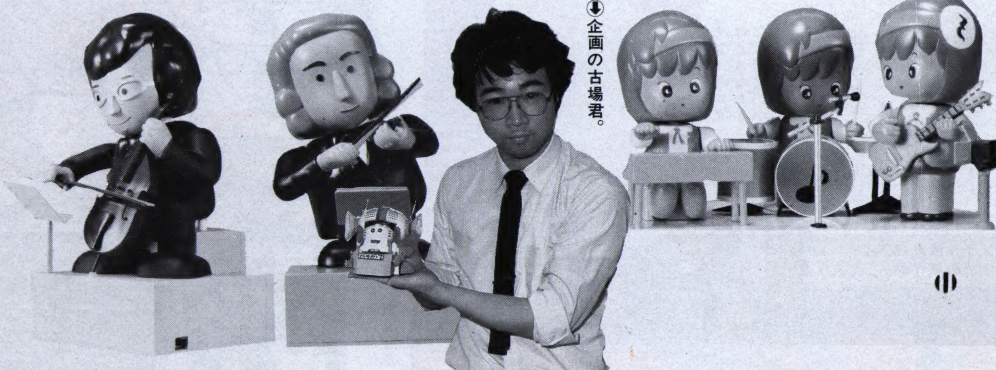




⬅北斗の拳の新シリーズ、上半身がTR樹脂というやわらかい材質で、ひっぱるとのびます。3人セット。企画担当とき田君。

さて、フィギュアがらみの企画が多いが、すでに発売中の北斗の拳シリーズに、新しい素材を使ったバトルモデルが登場。手や顔がびろーんとのびるのです。これなら「あべし」とか「ひでぶ」とか言って遊べます。

次はセンサロボシリーズ。今回のテーマはミュージックです。かわいい3人組の女の子が、音楽に合わせて、ドラムをたたいたり、ギターを弾いたり。これは、まだ試作品なので、商品化は未定。6月に発売になったザ・ベートーベンに続く企画として「チェリスト」と「バイオリスト」というのがやはり、試作品として展示されていた。これもまた発売は未定。



⬇企画の古場君。

センサロボは、地味な商品だけど、なかなかおもしろいアイテムだと思うのです。こんなものがあったら良いのに、というようなアイデアがあったら、担当者の古場君に教えてやってね。

毎度の口ぐせとなってしまったけど、今回もやはり、スケールモデルの新製品がなくて残念。その中で唯一の救いは、モノグラム製品の存在かな。人気の高いものばかりではなく、手に入りにくくなってしまったものをチョイスして国内販売してほしいですね。カーモデルだけでなく、AFVやヒコーキモデルのリストアップもして頂きたいところです。

クラシックカーシリーズも、と





⬅試作品の三輪バイクと四輪駆動カー。

りあえず新デザインのパッケージに包まれて再デビューです。

　ちょこまかと、ゼンマイで走りまわる人気者「ポケッタシリーズ」がモデルチェンジです。ハデなオプションパーツを付けて登場です。数点が7月に発売予定となっています。

　さて、ポケッタ同様ゼンマイ走行モデルの新シリーズ「メカ昆」写真をよーく見て下さい。どこかで見た事があると思いませんか。わかった人は、相当のマニア。これは、その昔メカベンチャーというアニメになりそこなったシリーズのメカを改造したものなのです。（エッ、バラしちゃいけなかったんですか!?）でも、なかなかメカっぽくて楽しいですよ。発売はまだ未定。

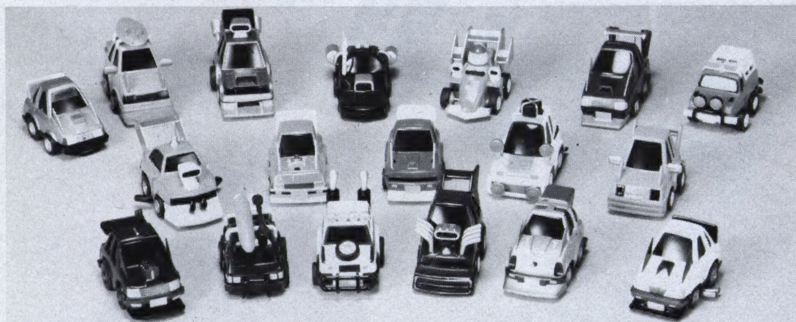
　ゼンマイモデルはまだあります。トラック野郎の人気は根強くて、本家の方も再生産、新製品の予定があるけど、その人気にあやかって、ポケトラック野郎というのが企画中で参考出品されました。小さな車体にギンギラデコレーション。トラック野郎ファンに喜こばれそうです。

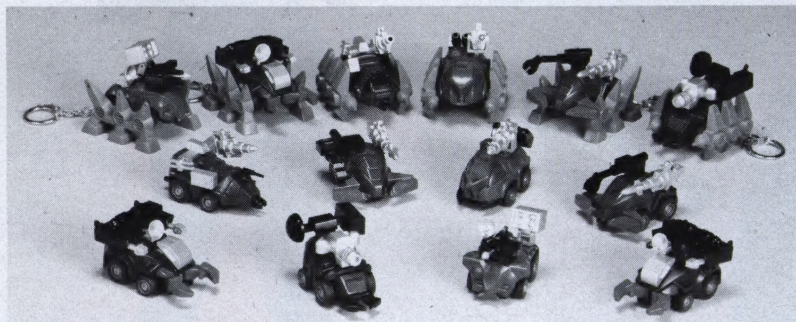
　おっと、大事なものを紹介しそこなうところだった。今回の見本市で最高に感動した。とある人が言ってましたが、それは、女子プロのデフォルメのこのこシリーズ。かわいいというか不気味というか。しかし、この企画を考えた人に拍手。

　あっもう一つわすれていましたダンクーガのアニメが人気上昇中というので急遽試作品が作られ、参考出品されました。

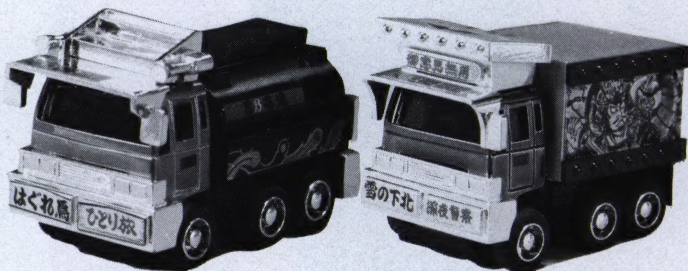
　しかし、4ページでは充分な見本市レポートにはなりませんでしたね。各模型専門誌にも掲載されるはずですから、いろいろ読みくらべて下さい。

　今回の見本市レポートはこれまで、次は秋の東京見本市です。

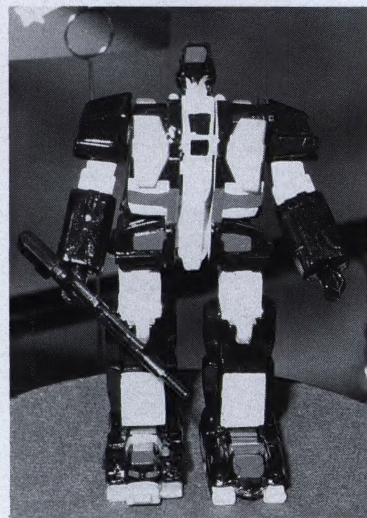




⬆モデルチェンジしたポケッタシリーズ(上)とメカ昆シリーズ(下)。



⬆トラック野郎の人気は根強いですね。ゼンマイで走ります。



⬇アニメ作品が好評なので企画検討中のダンクーガ。いかがかな。



⬆女子プロレスシリーズ。こういうのが受ける時代なんですね。





➡開場前のひととき、受注係のおねえさんたちは、やや緊張気味です。⬇開場と同時にお客様が殺到。ここで受注されたものは、7月以降に皆さんの手元に届きます。

重戦機エルガイム"ガウ・ハ・レッシー"

Figure（フィギュア） Figure（フィギュア）

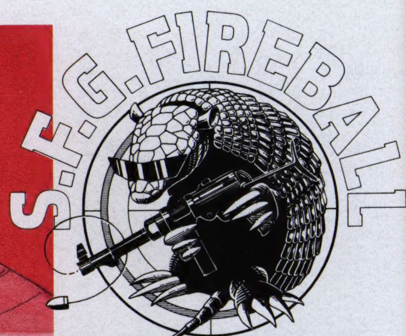
by Kazuo-Ishii



アニメファンには、レッシィちゃんの人気は抜群ですね。レッシィちゃんは、いろいろコスチュームが変化しましたが、その中ではやはりこれが一番！と思うのです。サイズはいつもの1／6。服は布地とビニールレザーを使用しています。



コスチュームは着せ替えが出来る。



《STAFF》

WRITTEN AND DIRECTED BY
KAZUNORI ITO

CHARACTER DESIGNED BY
AKEMI TAKADA

ILLUSTRATION BY
HIROYUKI KITAZUME

MECHANICS DESIGNED BY
RYO SAKUMA
JUN KATO
KUNIO OKAWARA
KAZUHISA KONDO
HIROYUKI KATO

PRODUCED BY
SATOSHI KATO

CO-PRODUCED BY
KEN SUEKAWA

《CAST》

RIN KAZUMI
GIG STRATTEN
YUJI IZUBUCHI
TAKESHI WAKANA
NORMAN SYNCLEA
MARDOC HIRATA
JEREMY GRY
AKIO KATO
YURA IZUBUCHI

スパイラルゾーン SPIRAL ZONE

Scene 4
戦　闘

接近する砂塵との競争だった。
両翼から迫る砂塵がひとつになり、彼らの前で包囲の輪が閉じてしまったら……そのときはSFG第17分遣隊“ファイヤーボール”チームも全滅を覚悟しなければならないだろう。

だが、たとえ多くの敵を倒せたとしても、ベースに帰還できなければ、その戦闘にはなんの意味もない。無駄死に以外のなにものでも

ない。

バグの情報を持ち帰ること——それが、彼らに与えられた任務なのだ。

彼らは、三方から迫るバグを振り切って、包囲の輪から——〝ゾーン〟から脱出することに全力を注ぐべきだった。

輪が閉じるよりはやく、T川を越えることができれば、生還の確率はかなり希望をもてる数字になる。しかし……

「両翼の砂塵、接近！　右、距離約一〇〇〇！　同じく、左、距離約九〇〇！」

「ジェレミー、そこから砂塵の正体がわかるか？」

「この位置じゃちょっと……もう少し高度を上げれば見えるかもしれませんけどねぇ」

こんな状況にもかかわらず、若菜の問いに答えるジェレミーの声が、まるで緊迫感を欠いたものだったことに、鱗は妙な安心を覚えた。〝何が砂塵を上げて接近してくるのか？〟

それがレギオンでないことは、鱗の少ない経験からも容易に判断できた。レギオンはけして作戦的な動きをしない。その攻撃はきわめて刹那的なものだった。とすれば、そこにも彼らの知らない敵が存在するのだ。

おそらく、若菜も同じことを考えているのだろう、と鱗は思った。後方から接近してくる飛行タイプのそれとは、別タイプのバグが存在するとしたら、その姿を確認するのも彼らの任務だった。

そして、バグの戦闘能力に関する情報を得るためには、どこかで一戦交えなければならないことも、鱗は知っていた。

「ノーマン、状況分析はやってみたか？」

「一応ね」

「おまえのコンピューターは後のバグについて、なんといってる？」

「相対速度14メートル毎秒。こっちに追いつくまで3分プラスマイナス30秒。射程距離に捕えられるのは——」

「無意味だ」　若菜とノーマンの交信にヒラタが割り込んだ。「敵の火力が不明なのになぜ数字が出せる。まだ射程に入っていないという保証はどこにもない」

「あんたはそう言うと思ったよ。しかしな」

「議論の必要はない。加藤、ジェレミー、左の敵を牽制しろ。ノーマンと出渕は右だ」

鱗は射程に入るまでの時間を聞きたいと思った。ヒラタのいうとおり、それが無意味な数字だったとしても、聞けば気持ちの準備ができる——そんな気がした。

〝そういえば包囲戦についてのレクチャーをうけたことがあったな……〟

鱗はハイパーボクサー歩兵になったばかりのころの記憶をまさぐった。が、そのときの教官は包囲する時のことは教えてくれたが、包囲された時のことは何も語らなかったことを思い出した。

左手でブロンコが投下したナパームが炎を吹き上げた。ほとんど同時に、右手に40ミリ機関砲が炸裂した。

「見たか!?」　レシーバーに加藤の声がとびこんできた。

「あぁ、ツノみたいな砲塔が三本……まるでアトラスだぜ」　ジェレミーが答える。

「なにぃ!?」　続いて若菜の声。

「虫ですよ。アトラスオオカブトムシ！　知りませんか？　そいつに似た戦車です」

「カメラに入ったか？」

「半分は砂塵に隠れて見え——」

ジェレミーの言葉の半分は、すさまじい空電のノイズにかき消された。

そのとき、ノーマンはちょうどブロンコを見上げていた。バンクして隊列に復帰しようとしていたブロンコの左後部で、ほんの一瞬強烈な光がはじけ、ブロンコはあおられるように、その態勢を崩した。地表に激突する寸前でブロンコが態勢を立てなおしたとき、左後部にあるはずのランディングギアが、きれいになくなっていたのである。

バグの攻撃を受けたことは明白だった。だが、ノーマンには使用された武器の種類がわからなかった。断じて火薬ではなく、かといってレーザーともちがう——彼らの兵器体系には今だ存在しないものなのだ。

このことが、バグをさらに無気味なものに思わせた。

「加藤っ！」

「無事です。油断しました」

「くそっ！　なんだったんだ、今のは!?」

ジェレミーが自分も健在であることを、悪態で示した。

前方にT川を渡る橋が見え、加藤はブロンコを一同の前に出して、次の行動に移っていた。

「橋の前方、異常なし。待ち伏せする敵はいません」

モノシードのバックミラーをのぞくと、後方のバグは、いつ攻撃をしかけてきてもおかしくない距離にまで接近していた。

〝蛾〟に似ている……ミラーに写ったバグを見て、鱗はそう思った。

「加藤、橋を渡ったあとで余裕があったらジェレミーを出渕のマッドレミングに移乗させろ。その後はベースに一直線だ」

「了解」

「どうでもいいけど、オレはブロンコのガンナーだぜ、チーフ」

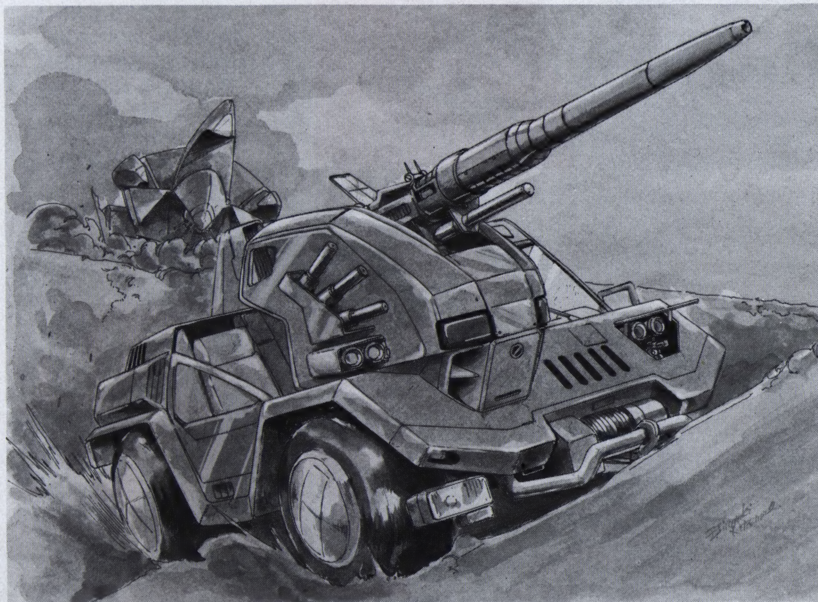
「すねるな。そいつは後ろの敵を撃てるようにはできてない。下で俺たちと時間をかせげ。他の者は橋を渡ったら散開！　鱗は俺の前に出ろ！」

鱗が橋を渡ろうとしたとき、後方のバグが攻撃を開始した。レーザーだった。路面がめくれあがり〝ゾーン〟の大地が激しく身ぶるいした。

鱗は腰骨のあたりがムズムズするのを感じながら、夢中でモノシードを駆り立てた。生還のチャンスを求めて！　対岸へ!!

鱗のすぐ後に、若菜とヒラタが続いた。

突然、一同の左手、橋の50メートルほど上流に迫っていた砂塵の先頭から、崩れかかっ



た家屋をなぎ倒して、三葉虫に似たバグが飛び出してきた。加藤たちが目撃した戦車の前に、超低空で飛行する小型のバグが存在したのだ。そいつは横いっぱいに広げた触角状の突起で〝ゾーン〟の構造物を切り裂きながら前進していたのである。

ヒラタはホルスターのLBG（レーザービームガン）を引き抜くと突進してくる三葉虫形態バグに銃口を向けた。なんのためらいもなく彼が狙いを定めたのはファイバーセンサーらしき触手状のものが密集する球状ポッドだった。

レーザーがポッドを貫き、バグはグラリと傾いて川床に激突した。すると、その衝撃で川床が大きく陥没し、橋脚がアメのようにねじまがった。同時に、橋は中央からボロボロとおがくずのように崩れだし、渡りかけていた出渕のマッドレミングが川床に放り出された。

まさに橋を渡ろうとしていたノーマンは、とっさにハンドルを切り、橋の下流から川を越えようとした。と、そのすぐ前に、上流に現れたと同じ三葉虫型のバグがとび出した。

瞬間、ノーマンは眼を閉じ、観念した。

が、コンマ数秒の差でノーマンのマッドレミングは川への斜面を走り降り、バグはその頭上すれすれを通過した。

対岸では機首を転じたブロンコと二台のモノシードが、それぞれの機銃で二台のマッドレミングを援護した。

ノーマンがバグの腹に40ミリ機関砲をぶち込んだとき、川岸に戦車が姿を現わした。ノーマンは視界の隅に三本の角のような砲塔をとらえ、首筋の毛がそそけ立つのを感じた。川床はサラサラと流砂のように陥没を続け、タイヤのパワーを吸収してしまう。

のっそりと姿を現わした戦車型のバグが未知のパワーを秘めていることが、ノーマンを焦らせた。全身から汗がふき出した。

対岸では、なんとかたどりついた出渕のマッドレミングにジェレミーが移乗するところだった。

〝考えろ、考えろ、ノーマン……このままでは狙い撃ちだ、最悪だぜ……どう転んでもこれ以上、悪くなりようがないってやつだ。それなら……。〟

ノーマンは自分に言いきかせて、勝負に出た。機関砲の砲身を思い切り下げて、川床を撃ったのだ。〝ゾーン〟への刺激が川床を波うたせ、幸運の女神はノーマンに微笑んだ。四つのタイヤがガッチリと地表をホールドして、マッドレミングは疾走した。

直後、川床に閃光がきらめいたが、ノーマンは、からくも死神の手を脱出したのである。

「すぐにもどって来ますよ。援軍をつれてね」

加藤はそう言いのこしてブロンコを発進させた。だが、誰一人、援軍がまにあうとは思っていなかった。

ほどなくバグの大群が川を越えてやって来た。〝ファイヤーボール〟チームは、それぞれの生を賭けて、かつてのM市の路地へと散開した。

通常の戦いであれば、機動性にすぐれ、遮へい物の多い地上にいる彼らの方が有利だといえた。敵が街ぐるみ破壊しようとしない限りは……。

しかし〝ゾーン〟では遮へい物など気安めにもならなかった。その多くはたえず変化を繰り返し、安定することがない。身を守るための遮へい物が、いつ危険なものになるとも知れないのだ。さらに、ここには保存すべき何ものもない。敵はただひたすら破壊と殺戮に専念できた。仮に直接の攻撃がうまくいかなかったとしても、その刺激に反応した〝ゾーン〟が、彼らを飲みこむかもしれない。

極端にいえば、バグにとっては、ただ、あたりかまわずレーザーを撃ち込むだけで彼らを追いつめることができ、彼らにしてみれば自分以外、周囲すべてが敵、というひどく分の悪い戦いだった。

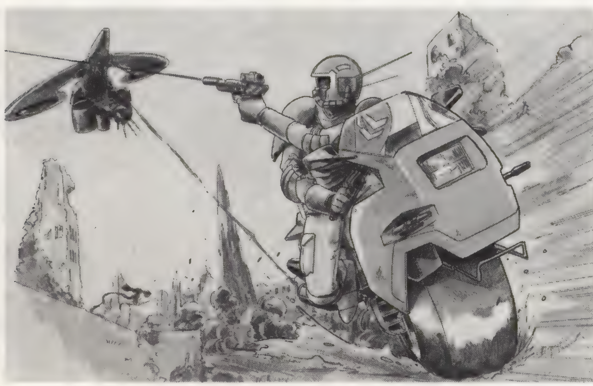
しかも、追われる側にいる今、モノシードのフロントに装備された12ミリ機銃は、ほとんど使いものにならず、モノシードライダーはLBGを片手に、片手だけでジャジャ馬のような単輪バイクをあやつらなければならなかった。

LBGのエネルギーカートは、連続使用で二分しかもたない。この時点で、麟が死を考えなかったといったら、嘘になる。が、あのとき、ギグに助けられなかったなら、自分はすでに〝ゾーン〟の一部にとりこまれていたはずなのだ。いたずらっぽい眼をした、人なつこそうなギグの笑顔が想い浮かんだ。

〝ギグ……〟

「心配するな、おまえは運が強いんだ。そのことを忘れるな。だが、生きてギグに会いたかったら、あたりへの注意だけはおこたるな」

いきなり若菜に話しかけられて、思わずハンドルがふらついた。思っただけのつもりだったのに、声に出してギグの名をつぶやいてしまったらしい。極度の緊張が続いているために神経が麻痺してしまったのだ。



「LBGはホルスターにしまっておけ。おまえは運転に集中したほうがいい」

麟は素直にそれにしたがった。

「次を右だ」

若菜にいわれるままに、麟は幅員二メートルに満たない狭い路地にモノシードを乗り入れる。

〝ゾーン〟全体がざわざわと沸き返っているようだった。

「次を、左」

少しばかり道巾が広がって、ホッとしたとき、前方のビルが急激に膨張し、あぶくを吹いて流れ出した。溶け崩れたビルのそこここからしゅうしゅうと立ち昇る蒸気の中に、蒼白いレーザーが踊っていた。

すぐ後ろに、蛾に似たバグが迫っていたのだ。

若菜が振り向きざまにLBGを撃った。が、バグの装甲はビームを吸収してしまった！

正面にツンと突き出した、二本の触角のような砲口の先端が光り、ビルをないだ。ビルは白く濁ったゼリー状になって道を覆った。麟はかまわずモノシードで突き進んだ。若菜のLBGがバグのセンサーポッドを捕え、バグは、まさに腹を向けて死んだ蛾のように地に落ちた。しかし、すぐに二匹のバグが現われて、二人を追った。

「見つかったな……麟、次を右で、すぐに左だ。この道と平行した道があるはずだ。こいつを片づけたら、俺もすぐに行く」

「でも……」

「命令だぞ。行け！」

麟はためらい、道を一本やりすごした。

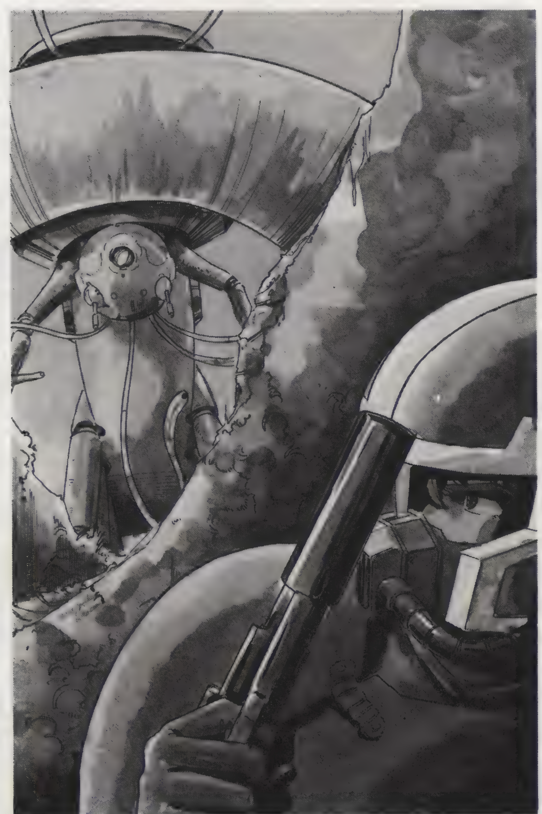
「命令違反は銃殺だぞっ！」

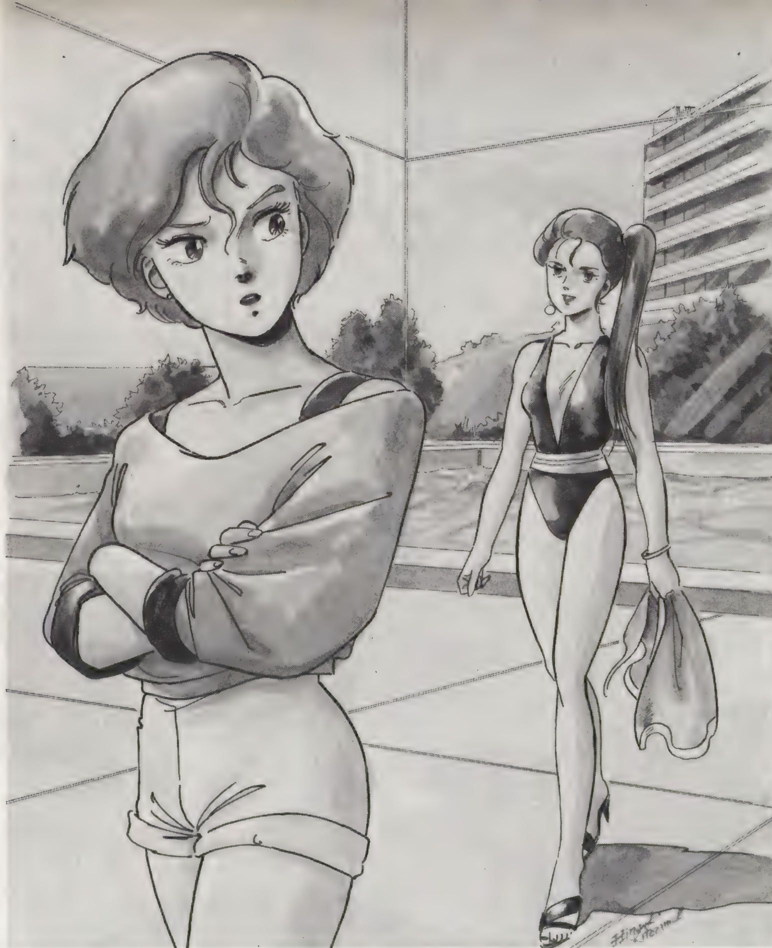
初めて聞く若菜の怒声と一緒にバグのレー

ザーが飛んできた。
麟はその両方から逃げるために、次の横道を右に折れた。
若菜の指示どおり、すぐに左に曲がると、かつては閑静な住宅街だったと思われる通りに出た。
麟は今来た方向を振り返った。〝ゾーン〟に犯された民家の屋根ごしに、二匹のバグが見え隠れしていた。
〝ここからでも援護できるかもしれない〟
麟はホルスターのLBGに手をかけた。あたりに異常がないことを確かめてから、「よし」と小さく呟いてLBGを引き抜く。どうせ一発でセンサーポッドを撃ちぬく自信はない。前方に障害物のないことを再度確認し、片方の手でハンドルグリップをしっかりと握ると、麟は大体の狙いをつけてLBGのトリガーを引きっぱなしにした。
二秒、三秒……変化はない。
〝当たれ、当たれ〟
五秒、六秒……レーザー発信器が加熱してくる。少しでも狙いを正確にしようと、麟はアクセルをもどした。
八秒、九秒……バグが大きく傾いて見えなくなった。
〝やった！〟
と、不意に、麟を横からものすごい衝撃が突きあげた。麟はモノシードからはね飛ばされ、宙を飛びながらそれを見た。
民家の塀を押し倒して、のそのそと進んでくる三本角の戦車があった。モノシードはその角に突き飛ばされたのだ。
焼けるような後悔の念にかられたが、すべて手遅れだった。麟は地面に投げ出されると痛みをこらえて立ち上がった。
戦車のファイバーセンサーがわさわさと伸びてくる。
逃げなければ——逃げきれるか？ 考えている時間はなかった。麟は走った。スーツのおかげで骨折はないようだった。

麟のすぐ横で、閃光がふくれあがった。風化したドアは簡単に塵になり、麟はあっさり中に入ることができた。床板を踏みぬかないように気を配りながら、麟は裏口へむかった。
すべてがボロボロになった室内でクリスタルの花びんだけが、しっかりと原型をとどめていることが、妙に気にかかった。が、そのことを考えている余裕はなかった。裏口のある台所の窓から、ゆらゆら揺れるファイバーセンサーを差しこんで、バグが家の中を調べているのだ。三葉虫型の小型のバグだった。
麟は迷った。手にはLBGを持っている。突破すべきか、それとも……
麟は息をひそめた。
バグが立ち去る気配はなかった。
〝ゾーン〟内で凝っとしていることの危険を、麟はイヤというほどよく知っている。
バグの触手のようなセンサーが、ゆっくりと麟の方に伸びてくる。
麟は自分の呼吸が早くなるのを感じた。バグが動いた。中へ！ 麟を見つけたのだ。
麟は夢中でトリガーをしぼり、外に出た。外にはレギオンが待っていた。
麟は悲鳴を上げた。麟がズルズルと後ずさると、眼の前のレギオンが消し飛んだ。
若菜だった。
「乗れっ！」若菜はステップに立って中腰になると、麟を無理矢理、後ろに乗せた。あたりはさまざまなタイプのレギオンでいっぱいだった。
しかし——そこここで起こっていることを麟が理解するまでには、多少の時間が必要だった。
レギオンはバグを攻撃し、バグはレギオンの攻撃に会うと、あっさり退去してしまうのだ。
バグさえいなければ、レギオンは彼らの敵ではなかった。立ちふさがるレギオンを撃倒し、彼らは限界線（ターミネーションライン）へひた走った。

この作戦での〝ファイヤーボール〟チームの損害はモノシード一輌、ブロンコのランディングギア一個……メンバーは全員、生還できたのである。
「どうも納得いかん……あそこでレギオンがわいて出たのはいいさ、まあ、あれだけドンパチやれば、出てこない方がどうかしてる」
その夜のミーティングで、眉間にしわを寄せて、ノーマンがいった。「だけど、なんだってあいつらがバグに襲いかかるんだ？ あいつらグルじゃなかったのか？」
それは、全員の疑問でもあった。
「〝人間〟対〝ゾーン〟という図式だけでは説明しきれない何かがあるんでしょうか？」
と、出渕が若菜の答えを期待するように言った。が、口を開いたのはジェレミーだった。
「どうでもいいけど、皮肉じゃないの。結局のところ、オレたちはレギオンに助けられたんだからさ」
何人かが小さく頷いた。
「レギオンだけじゃない」腕を組んだまま、凝っと眼をつぶって聞いていたヒラタがそう言って一同を見まわした。「オレたちはバグにも助けられてる」
「ンな、馬鹿な!?」
「いや、バグは手かげんしていた。あるいは、最初からオレたちを殺る気はなかった……オレには、そうとしか思えん……」
一瞬、沈黙がおりた。
「ヒラタさん、考えすぎですよ。ねぇ、チーフはどう思います？」と、出渕。
「さぁな、俺にはなんともいえん。まだ、そういうことを話せる時期ではないのかもしれんしな」
——その後は、モノシードをおしゃかにした麟が冷かされ、ヒラタの話はそれきりになった。しかし、彼のこの発言は後に重要な意味を持ってくるのである。
ちょうどそのころ、K市のホテルを訪れるギグの姿があった。
ドアをくぐりはしたものの、フロントの前を行きつもどりつしているうちに、マネージ





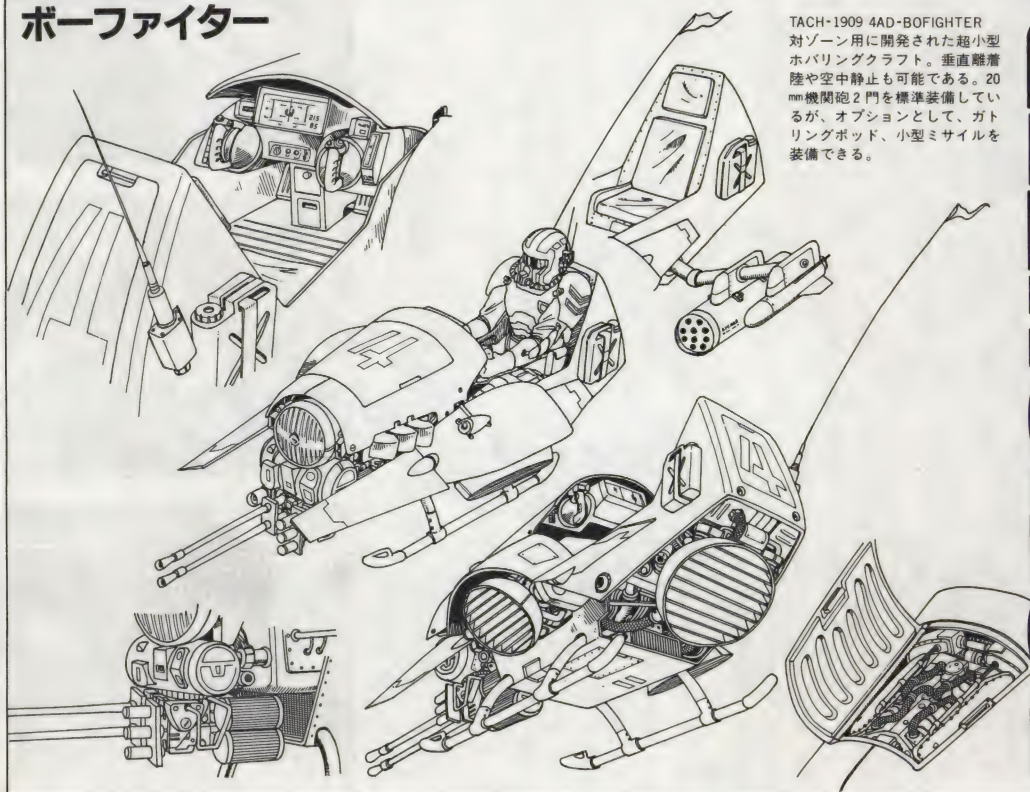
ヤーに呼びとめられ、ギグは渋々面会に来た相手の名前をつげた。
マネージャーがその相手を確認し、うさんくさそうにギグを見ながらも彼女を案内した室内プールでは、由良が待っていた。
「あなたも泳がない？ 水着ならあるわよ」
水の中から由良がいった。
「悪いけど遊んでるヒマないんだよね」
「遊びじゃないのよ……水泳は健康にいいんだから」
「……水遊びの相手ならオレ帰るよ」
「待ちなさい」 由良がプールから上がり濡れた身体を拭きながらいった。「そろそろ来るころだと思ってたわ」
「言っとくけどな、あんまり来い来いってうるさいから来てやったんだぞ。いいか、もし〝ゾーン〟見学の話だったら、お断りだからな」
由良はひたとギグを見すえて、最上級の微笑みを浮かべてみせた。
「……そんなことないわ、あなたは、あたしと一緒に行くのよ」
ギグは唇をかみしめて由良を見返した。
「さ、お部屋でゆっくり話しましょ」
そういってギグの肩に手をかけた由良からは、ギグの知らない、甘いいい匂いがした。

（つづく）

次回〝遭難〟

BOFIGHTER

ボーファイター



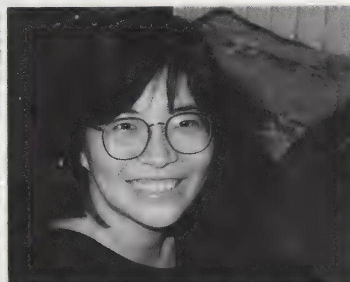
TACH-1909 4AD-BOFIGHTER
対ゾーン用に開発された超小型ホバリングクラフト。垂直離着陸や空中静止も可能である。20㎜機関砲２門を標準装備しているが、オプションとして、ガトリングポッド、小型ミサイルを装備できる。

静岡プラモ見本市見学団御一行様 多次元（ハチャメチャ）特別座談会

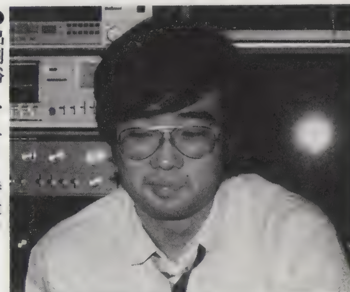
〈座談会出席者〉 開田　裕治　伊藤　和典　高田　明美　安井　尚志　出渕　裕
〈司会〉 加藤　智


●開田裕治　宇宙船の表紙やボックスアートで活躍中のイラストレーター。


●伊藤和典　クリィミーマミ等で知られるシナリオライター。


●高田明美　うる星やつらクリィミーマミ等のキャラクターデザイナー。


●安井尚志　特撮・アニメプラモ関連業界で幅広く活躍中のフリーライター。


●出渕裕　アニメ・特撮のメカニックデザイナーとして活躍。有名な知世ファン

5月24日、ＭＪ編集部は静岡見本市会場に、アニメ界とプラモ界で御活躍の皆さんにお集まり願い、その夜、編集長宅で座談会が開かれました。途中電話が入り乱れての多次元座談会の様子を、誌上に再現してみました。

ＭＪ（加藤）「まずは自己紹介を……」

伊藤「〝クリィミーマミ〟などのシナリオを書いています。ども、伊藤です。モスラは好きですか？……じゃなくて、今回は〝スパイラルゾーン〟を書いている縁で見本市に招待していただきました」

高田「〝うる星〟や〝マミ〟のキャラクターデザインをやってます。最近作は〝スパイラルゾーン〟のキャラ設定です。私はあんまり模型って作ったことないんですけど、最近、おつきあいする人たちの範囲が変ってきまして……」

ＭＪ「おーっと、これは説明がいりそうでする。実は、お二人は夫婦なんです」

伊藤「うーむ、そうだったのか……」

開田「なにを言ってるんですか、なにを（笑）前はプラモデルのボックスアートをよくやってたんですが、最近はビデオとかレーザーディスクなんかのジャケットの仕事が多くて……またプラモデルのボックスアートをやりたいな、なんて思っています。開田です」

出渕「アニメのメカデザインやイラストの仕事などを……東映さんでは〝電撃戦隊チェンジマン〟のモンスターデザインを担当してます」

高田「知世ファン」

出渕「しまった……あのねぇ！」

ＭＪ「（笑）開田さんと出渕さんは独身ですから、ＭＪの女性読者のみなさん、ファンレターをお願いしますね！」

安井「朝日ソノラマの〝宇宙船〟や講談社の児童誌で企画構成をやっております。フリーライターの安井です。今日は小田さんが出席できないので代理という形で出席させてもらいました」

　自己紹介が終ってホットしたのか（？）グラスの音がしきりにする。（みなさんお酒を飲みながらだったのです）

ＭＪ「それでは、見本市の感想からお願いします」

安井「私はバンダイさんとのおつき合いの関係で、プラモ見本市は欠かさず見て来ているのですが、今回は各社ともプラモという事に限らず、商品の幅が多様化してきたと思うんです。例えば、東京マルイ玩具の完成品エアーガン、タミヤを中心にしたＲＣカー、そしてバンダイはフィギュアやトーイの線という感じで……」

伊藤「僕は見本市を見るのは今回が初めてなもんで、比較ができないんですけど、各社ともテーマをはっきりと打ち出してるな、という感じはしました」

出渕「僕はＡＦＶに興味があるんですけど、スケールをやってるメーカーはスケールをキャラクター専門のメーカーはキャラクターをといった具合にね」

伊藤「ブッちゃんもＡＦＶモデラーだったんだ。押井（守）さんもすごいＡＦＶモデラーなんだよ」

高田「そうそう。でも、もう引退したんじゃなかった？」

ＭＪ「それは、お・し・い」

出渕「……シャレですか？」

ＭＪ「開田さんはどうでした？」



座談会開始の頃。まだあまりアルコールが入ってないのでまともです。

開田「そうだねェ……ガンダム全盛、あっ、ごめんなさい、今でもそうなんだ。とにかく、ガンプラが買いたくても買えないようなころは、それにあやかろうと、なんでこのメーカーまでもがロボットをやるんだろう、と思うようなこともあったけどね……今は、さすがに、そうゆうことはありませんね」

MJ「バンダイのブース（コーナー展示）に対する感じはいかがですか?」

高田「にぎやかな感じで楽しかった……なんかお祭りの屋台みたいで。石井和夫さんのマミのフィギュアが良かった」

出渕「○○少女っていうようなキャラクターまで商品になる時代になったんですね……まるでメーカーが立体物のコミケをやってるみたいだ！」

伊藤「うん、なんていうか……バンダイもずいぶん、思い切ったことをするな、というか……ああゆうのって、もともとガレージキットの発想でしょ」

高田「でも、ガレージキットはけっこう高いし、手に入りやすくなったってよろこぶ人も多いんじゃないかな……ね、伊藤くん！」

伊藤「ダイちゃん、ダイちゃん」

高田「こらこら、猫に逃避するんじゃない！」

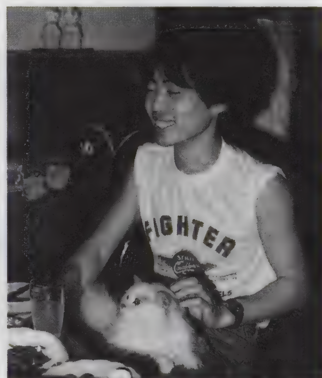
注・ダイちゃんとは編集長宅の猫のことです。

安井「昨年、『プリティフィギュア』という別冊をまとめた時は、まさかこんなブームになるとは思えませんでしたけどね……」

出渕「ところで、加藤さん。フィギュアはどんな作り方をされるんですか?」

MJ「○○少女というのは〝アーマロイド・レディ〟というのが正式名称でして、素材は、スチロールを使用するらしいです。マミやダーティペア等のフィギュアはソフトビニール製で目なども塗装済みの完成体となる予定です。服は布地でちゃんと着せ換えが出来るようにするつもりです」

安井「よかったね、開田さん。これで優ちゃんといっしょにお風呂に入れるじゃない」



伊藤さんの猫好きは有名。

注・すでにかなり酔っている様子。

開田「そういう趣味があるのは、あなたでしょ！もう、酒グセが悪いんだからぁ……」

注・この後、何かブツブツいっているのですが、録音状態が悪く、よく聞きとれません。

MJ「まあまあ、フィギュアの好きな人は、寂しがりやが多いんですから、いいじゃないですか。ところで、スパイラルゾーンのフィギュアはいかがでした?」

伊藤「12分の1という小さなフィギュアのわりには、よく関節が動くので驚きました」

高田「それから顔！見本市ではまだ2・3のキャラクターしかなかったけど、ジェレミー・グレイなんか、そっくりで……あれには感動しました！」

MJ「見本市に展示したものは、ケンシロウなどで原型をお願いした、伊藤宏之さんにお願いしました。カタログなどに載っているギグは、石井和夫さんです。女性の可動フィギュアも出しますよ」

開田「〝スパイラルゾーン〟のことは、よく知らないんだけど……」

出渕「知らなくて幸せです」

開田「なんで?」

出渕「だって、ひどいんだよあれ……SFG隊員で出渕裕治ってのが出てくるの」

開田「うわぁ……」

高田「伊藤君はキャラクターの名前考えるのが苦手なんですよね。それで、手近にいる人の名前を借りてきちゃう」

開田「迷惑な話だ！」

伊藤「開田さんはまだいいんですよ。小説の中ではフルネームで出てくること、めったにないから。どうしても〝出渕〟とか〝プチ〟とかストレートな形で出てきちゃう。で、今、ちょっと後悔してるんです。この先、出渕隊員はひどい目にあいそうだし」

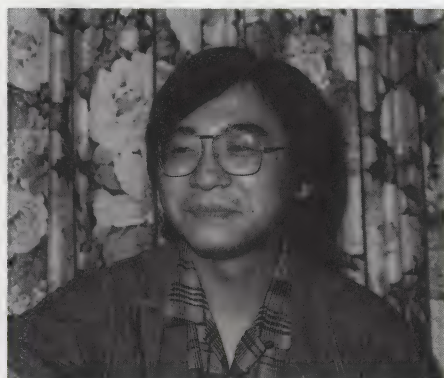
出渕「ひえー」

高田「だから開渕ゆたじにすればよかったのよ」

開田「とんでもない名前だ……でも、あれは確か、去年は〝ファイヤーボール〟というタイトルで〝模型情報〟にのっていたでしょう」

MJ「そうですね、じゃあ、その辺のことは安井さんに説明してもらいましょうか」

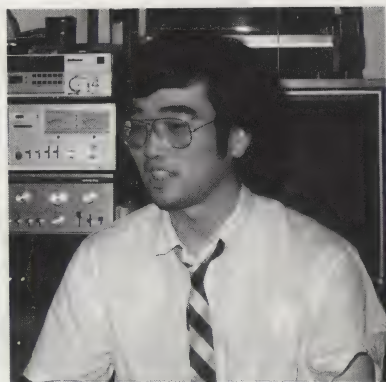
安井「はい……そもそもこの企画は、大河原



そういえば最近、開田さんのボックスアートが……。



紅一点。高田さんのおかげで座が盛り上がりました。



「僕は知世ちゃんとAFVのファンです」

さんと小田さんが遊びでデザインしたものが発端ですね。それを造型家の若狭新一さんが立体物にしまして……。当時は〝コンバットヘルメット〟とか言ってました。その後、バンダイさんからオリジナルキャラクターの参考にしたいという申し入れがあり、このプロジェクトが動き始めたんです」

出渕「メカデザインは、すべて大河原さんがやられたのですか?」

安井「(バンダイの最新カタログを手にして)メインの戦闘スーツとマッドレミングが大河原さんですね。モノシード、ボーファイターが「コミックボンボン」でZガンダムの漫画を描いている近藤和久さん。デザートモニターがインダストリアルデザイナーでモデラーもやられる名古屋の加藤純さんです。これらの方が描かれたコンセプトデザインを、バンダイサイドのプロデューサである加藤さんと末川さんが選択して、新人メカデザイナーの佐久間良さんがフィニッシュするわけです」

MJ「デザートモニターとボーファイターのフィニッシュは、石橋謙一さんですよ」

高田「ずいぶんたくさんの方がかかわっているんですね」

MJ「メカデザインをまとめるというのは大変ですね。こんなに難かしいとは思いませんでした。特にメカデザインに個性を持たせるセンスが……」

出渕「僕は『ボンボン』を愛読しているんですが、この間見たら、マラサイにハングル文字が書いてあったね。あれはおもしろかった」

安井「百式に漢字が使われているから、ハングルがあってもよいだろう、と書きこんだっていってましたよ」

伊藤「あの〝百〟っていうのは富野さんが自分でキャラ表に書きこんだという話を聞きましたけど……」



「だから さぁ、開田さんそれはねぇ……」「そう、そうなんですよね安井さん」

MJ「マラサイとか百式という名前が出ましたが、Zガンダムの商品はいかがでした」

開田「Zガンダムはあれで変形できるんですか?」

MJ「現在、試作中ですがかなり難かしいですね。変形ギミックとプロポーションを両立させられそうもないです」

出渕「Zガンダムプラモもよいのですが、ノーマルなガンダムプラモも、現在の技術で作り直してほしいところですね。あっ、それからハイコンプリートモデルのライディーンはなかなかよかったですね。ぜひ、オーラバトラーも出してほしいな」

なぜか、突然、電話のベルがなる。

「もしもし、アニメライターの中島紳介と申しますが、そちらに高田明美さんいらっしゃいますか?」

高田「中島さん……あ、MJマテリアルの表紙の件ですか?」

MJ「うーん、信じられないタイミングだ。こうなったらバラしちゃいましょう。MJマテリアルでは〝クリィミーマミ・ロンググッドバイ〟の別冊を出すことになったんですよ」

伊藤「今日、ちょうど0号試写があったんですよ」

高田「(打ち合わせを終え、電話を切って)チラッとですがメーキャップアーティストのブチ子さんも出てます」

出渕「知らん、ちゅうに!」

MJ「〝ロンググッドバイ〟は映画作りの話でしたよね」

伊藤「ええ、最初は違う話の予定だったんですけどね」

開田「もったいぶらないで、それも話してしまいなさい」

伊藤「最初の予定ではサブタイトルを〝時の結びめ〟といいまして」

出渕「げげっ、タイムパラドクスSF!?」

伊藤「当たり。……主人公を優と俊夫の子供にしちゃって、つまり、近未来少女魔法ものSF、というなんだかよくわかんないものになるんですが。二人の子供たちの所へポジとネガがやってきて、うんぬん、という話で、エモーションの鵜之沢さんとか、かなり気にいってくれてたんですけど、この話にしちゃうと、今のキャラがみんなおじさん、おばさんになっちゃう」

開田「どのくらい未来の話なの?」

伊藤「ええと、優が28か29才ぐらいだったから……」

高田「太田貴子の声じゃできない!」

伊藤「そう、そういう問題もあったし、とにかく、そんな年のいった優ちゃんに感情移入できるか?、と。それに、実質、優の子供が主人公になるわけですよ。で、それでも〝クリィミーマミ〟のタイトルをつけていいものか、とかね、いろいろあって、エモーションの渡辺さんと話してるうちに、じゃあ、それはやめましょう、と」

高田「ほんと、あきらめがいいんだから」

MJ「なるほど、そんないきさつがあったん

「猫はいいなあ……原稿催促の電話がかかってこなくて」





「知世ちゃん見てる？」

ですか」

出渕「マミロイドとメグロイドってのか出てくるということですが」

高田「あれはデザインが私じゃなくて亜細亜堂の高木さんです」

出渕「そうですか……たとえば、アニメキャラにそういうコスチュームを着せるというのは、さっきの○○少女じゃないけど、わりと同人誌の発想に近いというか……」

伊藤「あ、そうか。ぼくも似たようなことやってたんだ」

開田「だからおもしろいんだと思いますよ」

安井「加藤さん、この際だから開田さんの画集のこともバラしちゃいましょうよ」

開田「えっ、そんな企画あるんですか？　やりたいです、やりたいです！」

伊藤「やって下さい、やって下さい！」

高田「開田さんのボックスアート、〝模型情報〟で人気ナンバーーなんでしょ……」

MJ「ズワースですね」

高田「出渕くんも画集出すんだって？」

出渕「発売日はまだ決まってないけど、朝日ソノラマから……モンスターデザインを中心とした内容になるみたいです」

安井「おっと、そうだ、Zガンダムのマテリアル II キャラ特集で北爪（宏幸）さんにイラストをお願いしなくちゃいけないんだ……電話かりますよ」

ガタン！と何かにぶつかる音。かなり酔っているものと思われる。

伊藤「北爪君が電話に出たら〝スパイラルゾーン〟の原稿、いつも遅れてすみません、と謝まってるって言って下さい」

開田「そうか、原稿が遅れるとイラストをやる北爪君が大変なんだ……それは自分で謝まるべきだ！」

伊藤「あはは」

高田「あははじゃないでしょう。加藤さんにも謝まりなさい！　もう、平気でしめ切り遅らすんだから！　あたし怒っちゃう!!」

出渕「どうして高田さんが怒るの？」

高田「なかなか原稿が上がんないの見てるとあたしの胃が痛くなるんだもン！　あたしのですよ!!」

伊藤「あははは」

高田「こらっ！」

伊藤「ごめんなさーい、ごめんなさーい。けして平気で遅らしてるわけじゃないんだよぉー」

MJ「……」

注・相当に酔っているものと思われる。この間に安井氏は北爪氏との電話を終え、また別のところに電話したもよう。

安井「もしもし、あっ破李拳竜さんですか……今、静岡に来ているんですけど……えっ、オリジナルビデオを製作している！　それも女の子を主人公にした実写特撮!!　模型情報で特集するから、また情報をおしえてね！」

MJ「深夜（午前零時）だというのに、皆さん、まだ仕事してるんですねェ……この業界は……！」

開田「いやあ、昼間寝てるだけなんですよ」

一度、受話器を置いた音のあと、再びダイヤル音。

安井「（また電話をかける）よし、今度は池田さんの所へかけてみよう。……あ、池田さんですか、何か面白い話はない……アニメックで仮面ライダーの事を書くんですか……そうですか連載……それは楽しみだ……今年は仮面ライダー再評価の年……ですか。どうも！」

MJ「ちょっと、ちょっと安井さん、バンダイのビデオの情報もとりあげてくださいね」

安井「グビッ、さっき、伊藤さんにマミのことしゃべってもらったからいいじゃないの。そうだ、破李拳さんとアートランドの平野俊弘さんは某アニメ学院の同級生だったんだよーっ」

出渕「だめだ、発動してる……」

注・この後、さらに何本か電話のやりとりがあるのですが、諸般の事情により割愛させていただきます。

開田「これほんとに活字になるのかなぁ？」

高田「まさか、ならないでしょ」

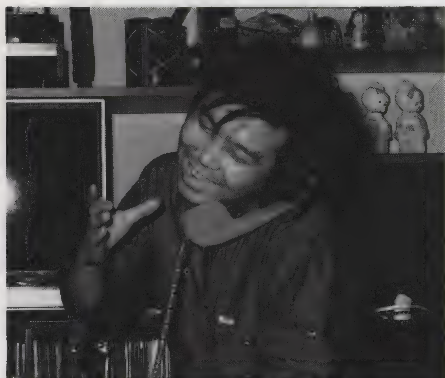
伊藤「座談会の記事は中止ですね」

注・中止にしないところがMJのスゴイところです。

出渕「あれ、加藤さん、寝ちゃった」

安井「よぉし、じゃあ、みんなでロンリー仮面ライダーの歌をうたおうっ!!」

こうして、騒がしい夜は明けていったのです。



酔った勢いで電話をかけまくる安井氏。



ヘルメットで遊ぶ開田氏と伊藤氏。



特別読者サービス。高田さんのパジャマ姿♡

▶成田亨◀ SPECIAL DESIGN WORK NO,6

特撮とは何か?②
特撮映画について



昭和47年に誕生したヒーロー〝ヒューマン〟。



若い頃、映画を見て感動した夜、映画は芸術か、商品かの問題で友達とよく議論しました。そして極めて芸術性の高い商品である。という所に落ちつくのです。芸術は価値が高く、商品は低いという価値づけではありません。分類です。

芸術は無償の行為である。と思っていた頃です。絵を描く場合、最初のエモーション(感動)が凡てであって、その絵を完成させる技術的な途中で最初の感動が薄れてゆく事に一番苦しんでいた頃でもありました。

●映画の製作にはまず最初のエモーションがない。

●映画は何が何でも売れて(観客を動員して)採算がとれなければならない宿命がある。だから残念ながら商品だと分類せざるを得ない。というのです。

観客を動員するのに二つの方向があって

●芸術性豊かな作品を作る方法と

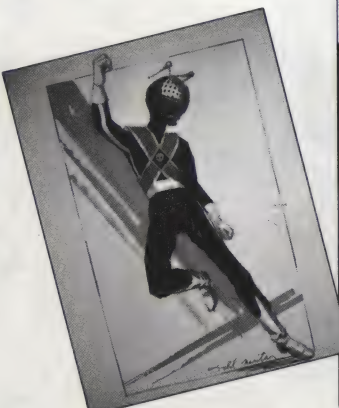
●映画のもつ商品性に徹して、娯楽に徹するか技術に徹して面白い作品を作る方法とがあります。特撮映画づくりは当然後者です。それはリアリズム以外に価値を見つけて映像化しようという事で、ある時は、S・F映画と呼ばれたり、空想科学映画、幻想映画と呼ばれるものです。

それでは実際の映画作りの段階で誰が空想するのか、これが問題です。映画は綜合芸術だからスタッフ一同で空想し考える。勿論一つ一つの撮り方に入ったら、みんなの智恵と努力で撮影は進むのですが、いま言っているのは撮影に入る以前の、企画とか、準備とかの段階の話です。

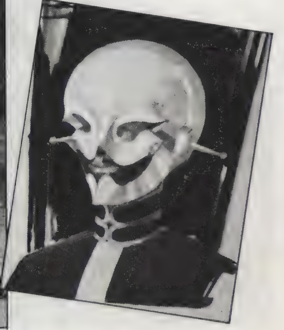
原作者が空想したり、企画者が、脚本家が、監督が、いろんな形があるでしょう。私はウルトラシリーズで精一杯空想しました。主役のウルトラマンは私のデザイン、脇役の人達は私がデザインしたコスチュームを着て、仇役の怪獣も私のデザイン。そして私がデザインしたセットで闘うのです。作品はご存知の通り大当たり。大成功でした。

一九六八年。私は伊勢丹のディスプレイデザイナーになりました。それは来るべき大阪万博をキッカケに映像ディスプレイの時代が来るのを予期しての事でした。全天全周映像を屋上で開催しましたが、予期した様な映像ディスプレイの時代まではゆきませんでした。

一九七二年。私は日本TVの白井荘也氏の依頼で「突撃!ヒューマン」をやりました。公開なまの番組で怪獣ものをやろうと言うのです。考えれば無茶な事を引き受けたものです。







ヒューマンの敵戦闘員フラッシャーと、首領キングフラッシャー。

ヒュー、ヒュー、ヒュー、と音楽が始まると三十分間舞台の上で失敗は赦されないのです。しかも舞台だから煙は使えない、火薬は使えない、巨大化は出来ない、と悪条件の方が多いのです。「仮面ライダー」の裏番組という理由もありますが不成功でした。

「突撃!ヒューマン」が終った後、私は本当のショーが見たくて一人でラスベガスへ行きました。スターダストのリドのショーを見る為です。二匹の馬が闘う二人の騎士を乗せて舞台を客席に向って走って来たり、劇場の中を人が乗った二機のヘリコプターが飛んだりのショーを見て唖然としました。ホンモノのショー程、劇場の機構からかかわっているという事、そして大変な訓練のタマモノであるのを知りました。

私は特撮映画に絶望していました。映画の為の特撮だけをやっていました。「戦争と人間」「最後の特攻隊」「氷雪の門」「新幹線大爆破」などで昨年の「麻雀放浪記」まで続きます。

人間のどんな仕事もタイヘンだと思いますが特に特撮映画づくりは根気と忍耐の仕事です。その底流には脈々と情熱が流れているのです。顔で笑って、心を燃やす。コールド・パッション。これが特撮マンの姿勢です。

日本の特撮映画の低迷から抜け出す活路があるとしたら、この情熱を取りもどす事でしょう。

情熱をとりもどしたら、じっくりと現実を見る事でしょう。S・Fとかマンガにまどわされずに特撮とは何かを考える事でしょう。

そして子供を大切に考える事でしょう。子供に見て貰う映画だからこそ大人は全力投球をしなければならないのです。

自分は何か? 何をすべきか? そして、ホンモノの特撮映画とはナニか?を考える時のようです。



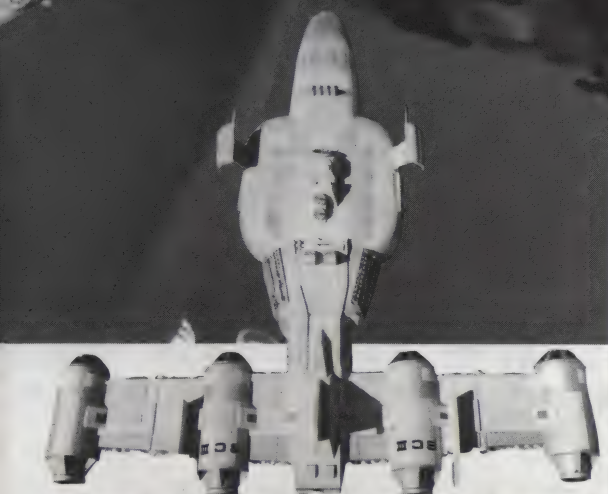
スターウルフ

円谷プロが挑んだスペース・ファンタジー

宇宙の勇者 スターウルフ

エドモント・ハミルトン
「さすらいのスターウルフ」より









ス III世のコクピットに乗りこんだスペースコマンド。左からリュウ、ダン、ヒメ、ジョウ、ビリ、ケン。彼らは金でやとわれ危険な仕事に挑む。

●放映期間／昭和53年4月3日～同年9月24日（全24話・第14話より「宇宙の勇者スターウルフ」に改題）●製作／円谷プロ●放送局／よみうりテレビ ●スタッフ／原案・エドモンド・ハミルトン、企画・円谷皐、佐野寿七、円谷粲、プロデューサー・加藤弘三（YTV）大橋益之助（電通）、音楽・前田憲男、脚本・阿部桂一、若槻文三、山浦弘靖、荒木芳久、長坂秀佳、監督・深沢清澄、金谷稔、特撮監督・佐川和夫、監修・糸川英夫、●出演／新星拳（スターウルフ）・東竜也、ヒメ・谷川みゆき、ダン・湯川勉、ビリ・立山博雄、リュウ・高橋長英、キャプテンジョウ・宍戸錠、ハルカン司令・山本昌平、リージャ・島崎奈々、ヨローリン・村松克己

〈数々の星で掠奪をくり返す宇宙海賊「ウルフ・アタッカー」。その中に特にズバ抜けて筋力が強く、残虐な若者がいた。銀河の人々はその若者を「スターウルフ」と呼んで怖れていた。彼は地球人の子であったが、子供の頃からウルフ・アタッカーの母星、ヴァルナ星で育った。ヴァルナ星の強い重力の中で彼の筋力は高められていた。だがある日、地球を襲った時、誤って親友を殺してしまったスターウルフは、ウルフアタッカーに狙われる身となった。スターウルフは新星拳と名乗って、宇宙の傭兵部隊、スペースコマンドにもぐりこんだ。しかし元ウルフアタッカーの素姓が知れれば直ちに仲間に殺されてしまう。こうしてスターウルフ・ケンの冒険がはじまった。

嗚呼！懐かしの特撮ヒーロー達



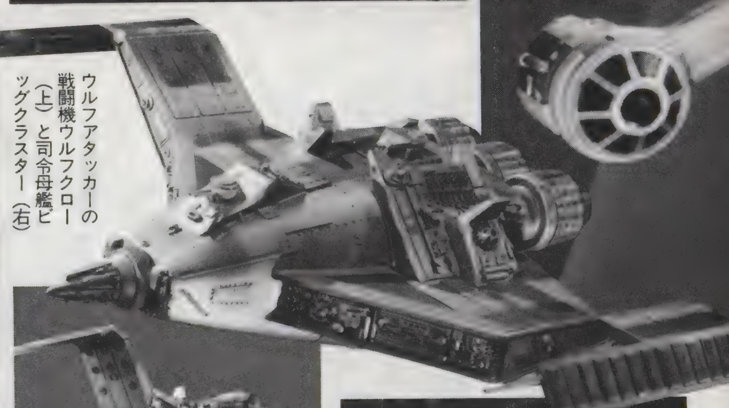
ウルフアタッカーの総司令であり、裏切者ケンを執拗に追うハルカン。ビッグクラスターに乗って、銀河を巡る。最後はヴァルナ軍でケンによって倒される。

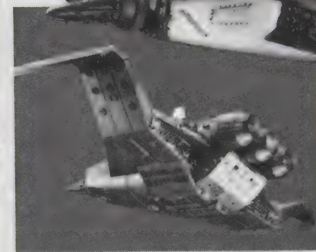


ケン達の乗り込んだバッカスIII世号。四基のエンジンによりワープ航法も可能。二門のレーザー砲、バリヤー機能、小型戦斗機ステリューラーを搭載。最新の特撮技術で大宇宙をかけまわる。

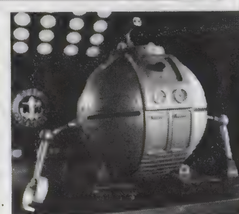


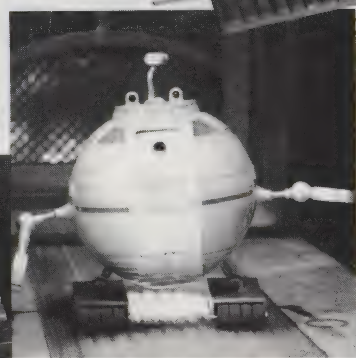
ケンに殺された兄の仇を討つため、ハルカンの命により単独でケンを追うリージャ。しかし彼女はヴァルナ星時代のケンの恋人であった。
下は、第14話からの新コスチューム（夏服!?）身を包んだケンとヒメ。





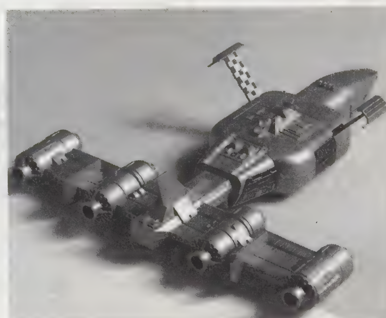
ウルフアタッカーの戦闘機ウルフクロー（上）と司令母艦ビッグクラスター（右）





第14話からスペースコマンドのメンバーとなったコン8（声・曽我町子）

●バッカスIII世は、プラモ化されていた！



「スターウルフ」のバッカスIII世号はバンダイからプラモとポピニカが発売されていたのを知っていたかな。プラモの方は「宇宙からのメッセージ」のリアベ・スペシャルと同じ頃に生産されたもので、リアルなディテールのはしりとなったものです。
残念なことに再生産の予定はなし……。今やコレクターアイテムなのです。当時の価格は五〇〇円でした。

激戦！応募総数680点

発表 人材・企画

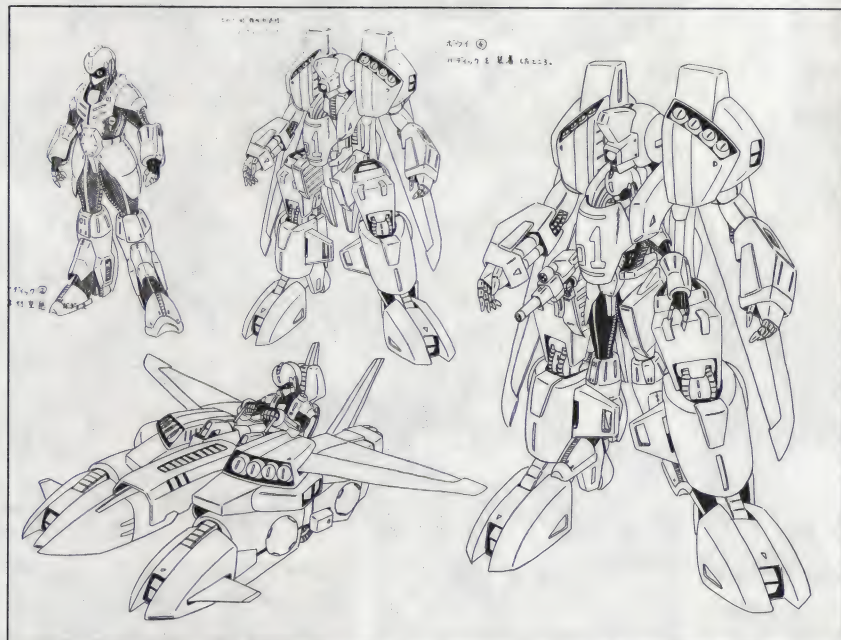
先月発表予定でしたが、編集部の都合で今月号での発表となりました。メカデザイン部門の応募総数は約680点と予想を上回り大変な激戦。審査も時間がかかりましたが、いやあ、世の中には才能のある人がたくさんいるものですね。うれしくなってしまいます。おしくも選外となった人も、これからがんばって下さい。

メカデザイナー部門

入選 該当者なし

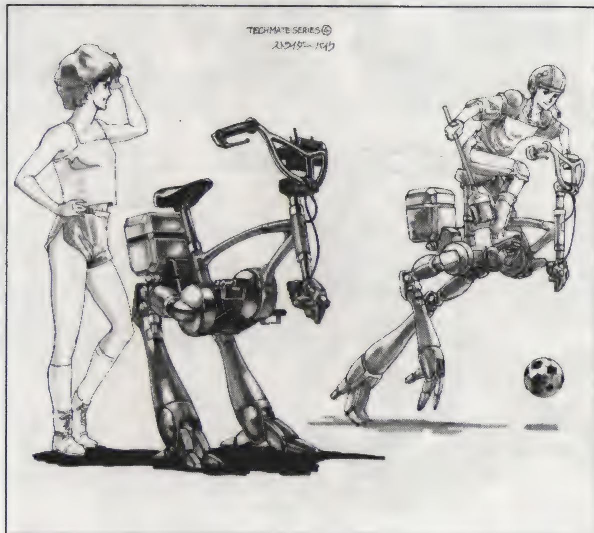
佳作 賞金5万円 3名
（準佳作・賞金2万円8名）

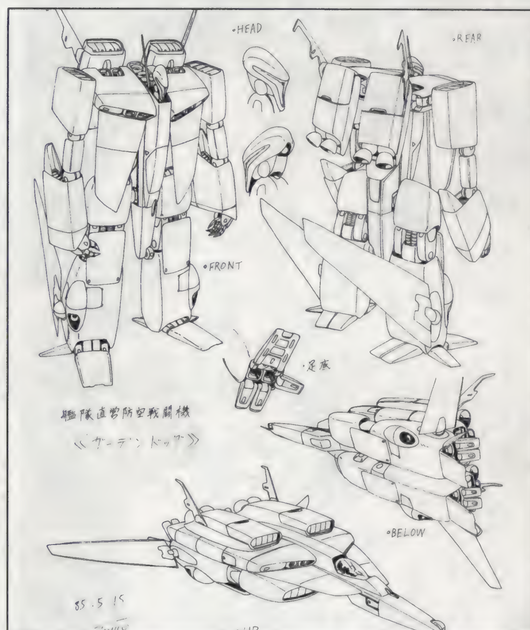
残念ながら入選は該当者なし、もう一歩というところです。その分、佳作が激戦。佳作作品は予定より人数を多くしました。そのまま模型化したい気分です。



⬆第2回・佳作　大阪市／薬師寺剛★ボウイ・バディック
〈寸評〉強化外骨格が飛行形態に変形するアイデアが良いです。

⬇第2回・佳作　札幌市／市川裕文★ストライダー・バイク
〈寸評〉こんな自転車？があったらたのしいね。



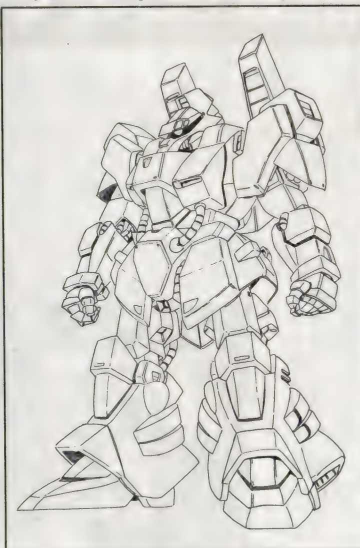


➡第2回・佳作　東京都／檜山智幸★ガーデンドック
〈寸評〉ロボット形態と飛行形態、いずれもデザインが美しい。

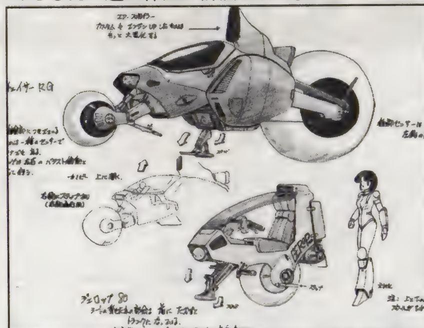
⬇第1回・準佳作　埼玉県／金原順一★リエィちゃんへ　〈寸評〉シドミード風タッチがグッド。全体の形がもう少し見たかった。



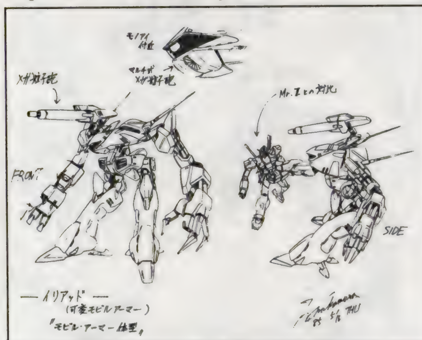
⬇第1回・準佳作　京都市／大森大雅★オリジナルMS　〈寸評〉前も後も、まとまりのあるデザイン。



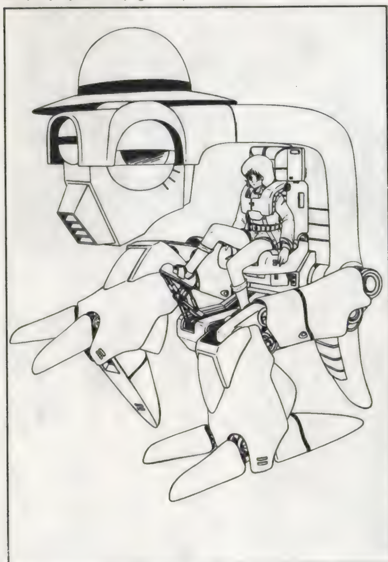
⬇第2回・準佳作　大阪府／浜口太郎★ロードチェイサーRG　〈寸評〉このバイクをはじめとした一連の作品が評価された。



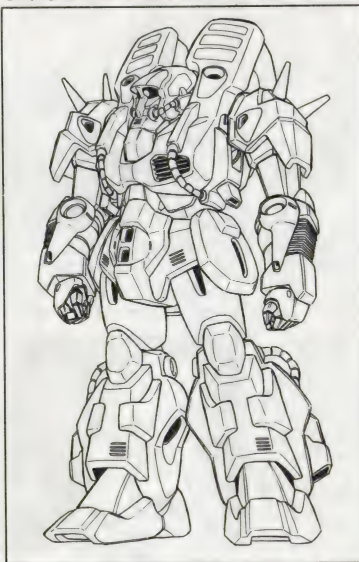
⬇第2回・準佳作　岡山県／中村克仁★可変MAイリアッド　〈寸評〉形のとらえ方がうまい。ペンタッチもきれい。



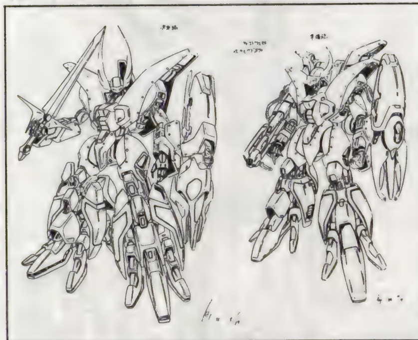
⬇第1回・準佳作　東京都／船倉勝利★無題　〈寸評〉なんだか良くわからないけど楽しいデザインです。



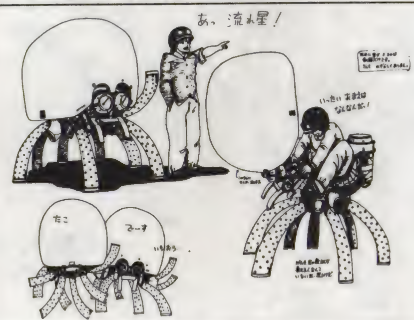
⬇第1回・準佳作　東京都／倉田学★ザク・スパー　〈寸評〉TVに登場させたくなるようなまとまりのあるデザイン。



⬇第2回・準佳作　東京都／太山かつみ★ガルグドS　〈寸評〉これで15才とはおどろき、将来が楽しみな人。



⬇第2回・準佳作　北海道／方川英世★たこでーす　〈寸評〉タッチがセンス抜群。このタッチでまんがを描かせてみたい。



努力賞　賞金5千円

メカデザイナー ●静岡市／雄萌魁 ●愛知県／小山国彦 ●山口県／徳山栄治 ●大阪府／若松高成 ●北海道／西中康弘 ●東京都／村田護郎 ●北海道／菊地賢二 ●東京都／永久保貴一 ●岐阜市／土屋裕 ●東京都／福沢満 ●神奈川県／野中剛 ●東京都／米村英明 ●奈良県／山本薫 ●岐阜県／伊藤良兼 ●群馬県／藤本聖士

新人まんが家 ●東京都／永久保貴一 ●東京都／井上健哉 ●千葉県／国武俊則 ●兵庫県／森満夫 ●神奈川県／神谷寿徳 ●東京都／武正芳明 ●群馬県／茂木又彦 ●兵庫県／篠崎裕介 ●東京都／磯野貴志 ●青森県／山ノ内謙吾 ●群馬県／甲斐光雄 ●神奈川県／土屋忍

キラッと光る個性がきめて

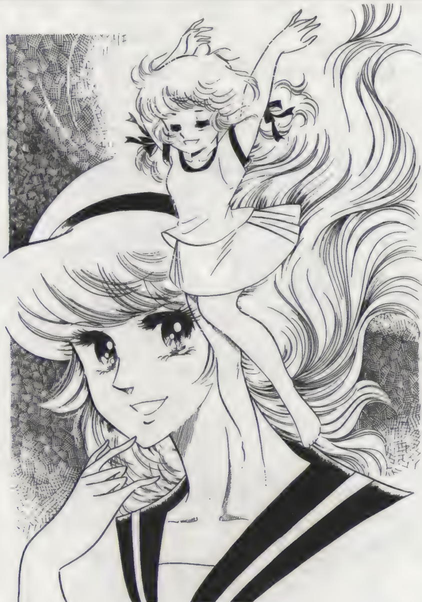
発表 人材・企画

漫画部門への応募作品は、メカ部門に比べてやはり少なかったね（でも予想よりは多かった） まんがは、画力と構成力の両面がうまくないと、読んでいておもしろい作品にはなりませんね。応募作品の多くは、まだまだという感じでした。佳作に選ばれた作品は、それぞれが個性があり、楽しく読めました。

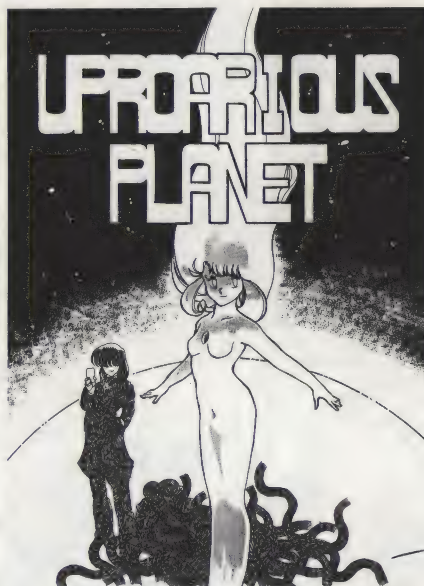
新人まんが家部門

入選 該当者なし

佳作 賞金5万円 4名



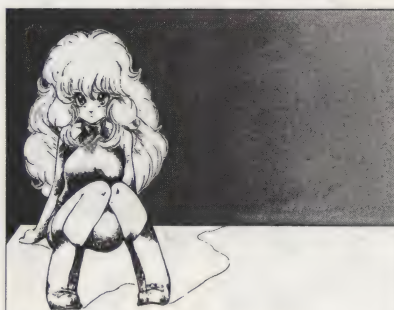
⬅佳作 神奈川／若杉雪乃★無題 〈寸評〉オーソドックスな少女まんが。まとまりの良さは応募作品中一番。唯一の女性応募。



⬅佳作 愛知県／マーヴィン★宴会の惑星 〈寸評〉画力・構成力ともなかなか、オチもさえています。もう少し線は少ない方が……。



⬅佳作 愛知県／坂井博紀★バトルアタック 〈寸評〉着想が良い模型ファンなら絶対に笑える。画力はもう少しです。





⬅佳作 大阪府／GOB'LIN★At the same time 〈寸評〉数少ないページ数でうまくまとめている。主人公がとにかくかわいい。

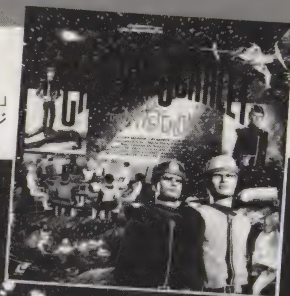


エモーション・ビデオフォーラム

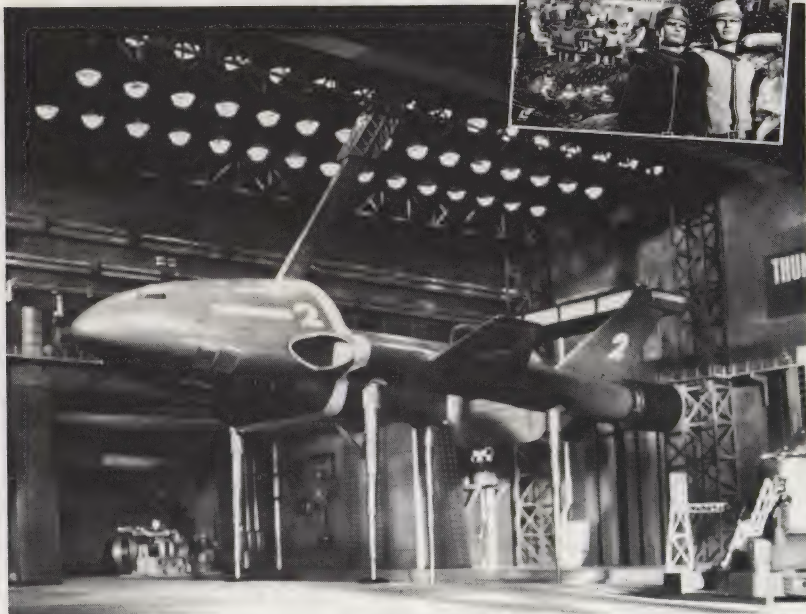
EMOTION VIDEO FORUM 出張版

サンダーバード・メカの集大成ビデオ8月に新発売！

日本語版も登場！



「キャプテンスカーレット」も画質鮮明なレーザービジョンディスクにて発売中。



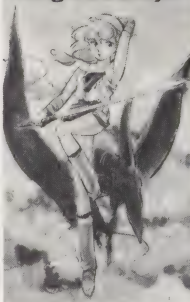
「サンダーバード」の魅力を満載のサンダーバード編集版。



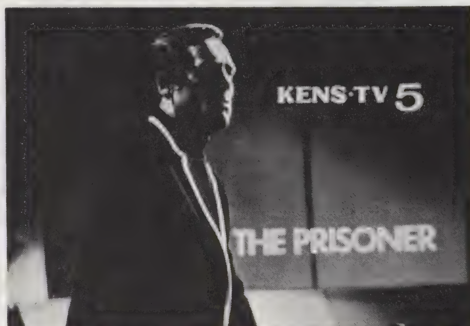
「サンダーバード」の生みの親、ジェリーアンダーソン(中央)。これは「スーパーカー」のスタジオでのスナップ。

前号でお知らせした、「サンダーバード」の編集版「サンダーバードブルパーズ」(仮称)が8月28日発売を目ざして製作進行を開始しました。「風の谷のナウシカ」や「マクロス」等でその手腕を広く認められ、またダイコンフィルム「帰ってきたウルトラマン」の監督としても名高い、庵野秀明氏の構成、演出による、今までのグラフィティものとは、ひと味違った作品として登場の予定です。TV放映第32話より、国際救助隊のメカの発進全プロセス、全フォルム、ディティールを徹底収録。また、ゲストメカ、コンテナメカ等ももれなくピックアップ、そして爆発、崩壊等のスペクタクル特撮シーンも完全に収録し、さらには、人形キャラクター、名シーンも網羅してしまうという、かなり凶悪な内容(？)となります。音声は、シネテープの使用により、クリアーなものであり、また日本語版のタイトルと、セリフにより、スーパーのはいる従来のITCものとは違い、画面が全面楽しめます。思わず笑ってしまうシークエンスをも挿入しつつ、全部で60分前後の構成となるため、密度は非常に高くなることでしょう。詳細な解説書もついて、予価10,000円にて登場。これはまさに、サンダーバードの集大成ビデオといえる商品なのです。なお、7月28日には、御要望にお答えし、日本語版の「サンダーバード」が発売になります。「ペネロープ危機一発」と「太陽反射鏡の恐怖」の2本立てで、なつかしい黒柳徹子の声が聞けます。ドラマ収録版のサンダーバードは、これにてしばらくお休み。残り20本の作品の発表は、しばらく先となります。ITCの特撮シリーズは8月をメドに「レンタル」をオープンにすべく検討中です。次号で詳細にお伝えできるようになると思います。

THUNDERBIRD



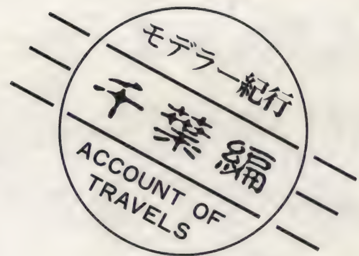
豪華280ページ、「ロンググッドバイ」付録のマミブック。今ならまだ1本に1冊付いています。



傑作「プリズナーNo.6」のプロモーション用スナップ。7月28日に第4巻目が発売。

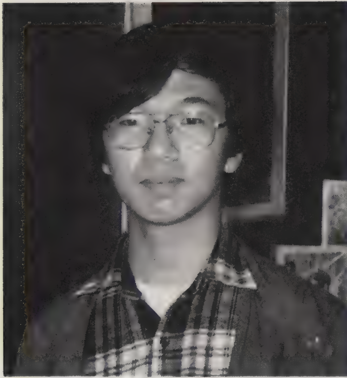
EMOTION ビデオでおなじみのフロンティア事業部が、6月より、新事務所に移転いたしました。新機一転、今後とも、楽しい作品をお届けすべく、スタッフ一同、はりきってがんばっております。EMOTION ビデオに対する御意見、御希望、また企画案等がございましたら、どしどしお寄せ下さい。なお、以前お知らせした、カタログのお申し込み先も、下記の様に変わりますので御注意下さい。

〒150東京都渋谷区神山町10番地3号
ネットワーク神南ビル
株式会社ネットワーク
フロンティア事業部　MJ係



土信田　一善

KAZUYOSHI TOSHIDA



久々のモデラー紀行ですが、今回はポピー特機事業部の手伝いをしてもらっている土信田一善君を訪ねました。

MJ　はじめまして、まだお若い様ですがおいくつですか?

土信田　昭和39年生まれの21才です。

MJ　大学生ですか?

土信田　千葉工大の精密機械科の4回生です

MJ　ポピー特機の企画を手伝う様になったのはどういうキッカケですか?

土信田　稲毛の〝ジミー〟という模型店に作品を飾ってもらっていたんですが、それを見たポピー特機の佐々野さんに声をかけられたんです。

MJ　飾ってあった作品は何でしたか?

土信田　今井のバルキリーです。

MJ　おっと…。どういう形での手伝いだったんですか?

土信田　メタルジョーというカギがロボットになるのがあったんですけど、それの彩色です。半年位は、ずっと彩色でした。

MJ　アルバイト料は充分だった?

土信田　ええ、それに好きな事してお金がもらえるなんて最高ですよ。特に新製品のテストショットを人より早く手にする事ができるんで優越感にもひたれますし。

MJ　模型は、どの分野が好きなの?

土信田　元々は鉄道模型（Nゲージ）が好きなんですけどね。あい間にキャラクター物を作ってたんです。デフォルメは好きですね。自動販売機のデフォルメシリーズをベースにいろいろ改造して楽しんでます。

MJ　先日の見本市はどうでした?

土信田　各社ともデフォルメとフィギュアの傾向が強かったようですね。フィギュアも好きなのでうれしいです。

MJ　そう言えば、5月号の「マミのフィギュア大募集〟の応募作品の中に土信田君の名があったような……。

土信田　ええ、応募しました。モモちゃんを改造して作ったんですけど、佐々野さんの仕事のあい間に作ったので2週間位かかりました。

MJ　審査は公平ですから。この応募作品は今、編集中の「クリィミーマミ・ロンググッドバイ〟の本の中に掲載する予定ですよ。

土信田　それは楽しみですね。僕のも載るといいなあ。あのユウちゃんは気に入っているんです。

MJ　写真を見るとかなりきれいなんでおどろいてますが、写真もうまいんですね。

土信田　はは、いやあれは、実はプロのカメラマンに撮ってもらったんです。知り合いにいまして。

MJ　なるほど、コンテストの場合、写真がきめてですからね。今回のコンテストも写真が悪くてソンしている人がたくさんいましたね。かわいそう。

土信田　本の発行はいつなんですか。

MJ　順調に行けば7月中旬から下旬かな。朝野君や石井君のフィギュア作品もたっぷり収録してますから、模型ファン必見ですよ。

MJ　バンダイに対して希望はありますか?

土信田　そうですね。ロボット等の関節が動くのは良いんですが、塗装がしやすいように考慮をしてほしいですね。

MJ　そこなんですが、今度発売される1/100ガルバルディβとリック・ディアスはその点を充分に考慮したキットになってますよ。関節にポリキャップを使用しているんですが、関節ですべてバラバラになる。だから、塗装してから組み上げられるんです。おすすめですね。本日は、どうもありがとうございました。



ガチャポン改造カルバリー・テンプル



コンテストの応募作、ミンキーモモベースですね。

新製品まんがレポート

●1/100ガルバルディβ
●1/100リックディアス



by 北崎拓美

7月 新製品

HOBBY

1 機動戦士Zガンダム 1/100スケール リック・ディアス



エゥーゴの新型モビルスーツ。全高190ミリのビッグサイズ。各関節可動。指可動。ビームピストル取りはずし可能。クレイバズーカ付。関節部にポリキャップを使用していますから関節の動きがスムーズです。人形付。
★7月発売予定　★小売予価￥1200
（写真は試作品）

2 機動戦士Zガンダム 1/100スケール ガルバルディβ



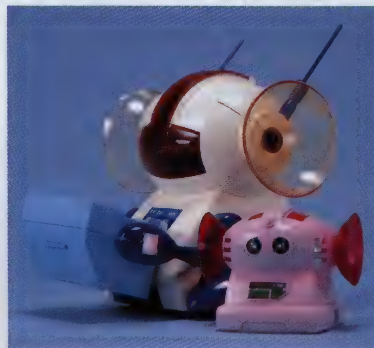
ライラ・ミラ・ライラが使用した機体。各部関節可動。関節部にポリキャップを使用しています。また各ブロックで別々に組み立て後からはめ込むことができますから塗装に便利です。1/48ライラさんの人形付。
★7月発売予定　★小売予価￥1000

3 機動戦士Zガンダム H.C.M ハイザック



Zガンダムの HCMシリーズ第2弾です。外観はほぼ設定通り色分けされています。主要部分には金属パーツを使用しています。ムネのハッチ開閉。モノアイは自然光で光ります。指可動。
★7月発売予定　★小売予価￥2000

4 音方向感知ロボ コッチロボ



音センサを利用し、音の方向を感知して音の方に進むロボットです。左右にセンサを持ち、音の方向を判断します。親ロボットと子ロボットのセットになっていて、子ロボットが呼ぶと親ロボットが子ロボットの方へ向って近づいてゆきます。親ロボットには、バスケットが持てる様になっていますから、ケシゴムや、ボールペンなどの小物を運ばせて遊べます。LEDの目が点滅します。手にはメッセージペーパーを持たせられます
★7月発売予定　★小売予価￥4800

5 パロチェンマン フランケンシュタイン



恐怖の人造人間もパロチェンマンの仲間になるとかわいく変身。レバー操作で口がぱくぱく。ゼンマイ走行します。
★7月発売予定　★小売価格￥400

6 ロボチェンマン ハイザック



4色成形です。足を前に投げ出してゼンマイで走行します。ザクマシンガン、シールド付。ドライバー付。
★7月発売予定　★小売価格￥400

7 北斗の拳 3人セット バトルモデル No.2



頭と腕にTR樹脂(軟質樹脂)を使用しているので、のばしたりまげたりできます。レイとジョーカー、アミバの3体セット。
★7月発売予定　★小売価格￥300

模型情報

1 魔法の天使 クリィミーマミ（ＭＪ別冊） ロンググッドバイ



エモーションのオリジナルビデオの発売を記念して、ＭＪマテリアルとしてまとまりました。表紙は高田明美さん描き下し。豊富なカラーページで、フィルムストーリーと朝野石井両氏のフィギュア作品や読者の投稿作品が掲載されています。マミファン必見!
★8月上旬発行予定　★小売価格￥560

2 ペーパークラフトブック（ＭＪ別冊） 1/100ウォーカーギャリア



大変長らくおまたせしました。1/100 ウォーカーギャリアがペーパークラフトになって登場です。A4判
★8月上旬発行予定　★小売価格￥600

2 DX超合金ダンクーガ



4体のロボットが完全変形・合体します。
★7月発売予定　★小売予価￥5800

3 1/60ガンダムMkⅡ



ソフトビニール製の1/60ガンダムＭｋⅡです。塗装済みの2800円と未塗装の白ボディの2400円の2種類発売。
★7月発売予定

4 DX超合金ガンダムMkⅡ



プロポーション抜群、可動ギミック最高。
★7月発売予定　★小売価格￥3980

8 ポケッタシリーズ



人気のポケッタシリーズがドレスアップして登場です。
●スカイライン改●スタリオン改●セリカ改
●ソアラ改●フェアレディ改●コスモ改
以上の6種。プルバックゼンマイですばやく走ります。
★7月発売予定　★小売価格￥200

9 クラシックカーシリーズ

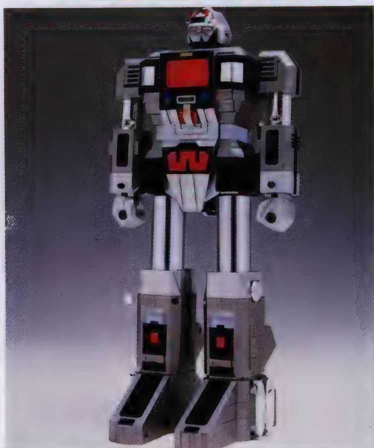
新デザインのパッケージと解説書になって再デビューです。

①メルセデス	￥2500
②マーサーレースアバウト	￥2500
③エクスキャリバーSSK	￥3200
④エクスキャリバーＳＳ	￥3500
⑤ブガッティロワイヤル	￥4000
⑥アルファロメオ	￥3500
⑦トーマスフライアバウト	￥2500
⑧ロールスロイス・バルーンカー	￥3800
⑨フォードＴバン	￥2500
⑩デューセンバーグ	￥3800

以上の10点ですが、新パッケージになっただけではなく一部金型改造され、組みやすくなりました。また解説書も資料性が高いものとなっています。
★7月発売予定

POPY

1 DX超合金ダイレオン



4体のロボットが完全変形・合体します。
★7月発売予定　★小売予価￥4500

提案！これからの模型店（ホビーショップ）

こんなホビーショップがあったらいいのになあ、という、ホビーファンの夢をイラストにしてみました。

模型に関係する本を本屋さんに買いに行ったら、大きな本屋さんでは、その本の量に負けて探し出せませんでした。また小さな本屋さんでは取り扱っていませんでした。——こんな経験ありませんか？

本は一例です。模型も好きですが、アニメも好き、特撮も好きという私は、これからの模型店は模型だけでなく、模型に関係するいろいろなグッズを取り扱ってほしいと思うのでした。

私は常連 ホビーショップレポート募集

模型ファンにとって、模型店は大事なところですね。親切なおじさんや、模型に詳しくていろいろ教えてくれるおにいさんがいてくれると、思わず毎日通ってしまったりするんだよね。

そこで、そういう常連を自負するあなた。あなたの自慢したいお店をレポートして編集部まで送ってくれませんか「お店の人がすごいモデラーなんだ」とか「めずらしいものがいっぱいある」とか「きれいなおねェさんがいる」等々なんでもいいよ。

本当なら編集部が出張して取材にいかなくちゃいけないのかもしれないけど、全国をそのために歩きまわるのは、とても無理だしね。

そこで、ＭＪ読者の皆さんに、臨時編集員になったつもりでレポートしてもらおうというものです。

◎応募規定

①紹介文——自己紹介とあなたが良くいくお店の特長を、四百字詰原稿用紙2枚以内にまとめて書いて下さい。

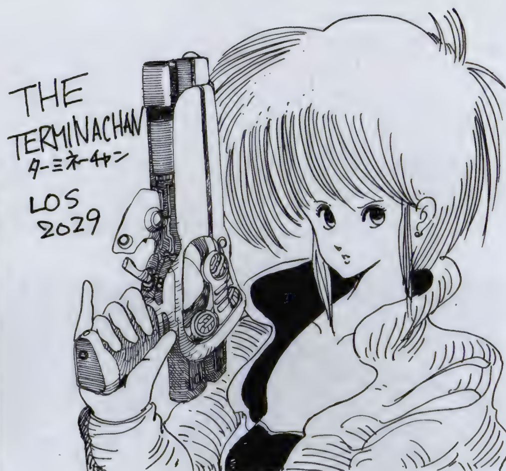
②写真——あなたとお店の人そして、お店の写真を数枚。（写真はお店の人にとってもらっても良いですよ）

③トレーナーの希望サイズを記入して下さい。

あて先——〒424静岡県清水市袖師町702（株）バンダイ静岡工場　ＭＪ編集部「ホビーショップレポート係」

採用者には"スパイラルゾーントレーナー"プレゼント

プラモ個性派倶楽部 VOL.6

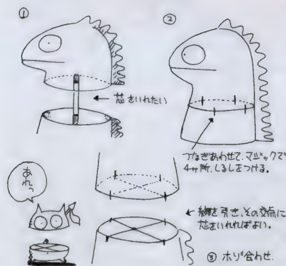


梅雨は模型の敵です。うっ塗装が乾かない！などと言っているうちにもうそろそろ夏のプラモ個性派倶楽部。

ガレージキットなどのパーツ接着の時、プラ棒や真鍮線を通して補強しますが、パーツ同志がピタリ合うように穴をあけるにはどうしたらよいでしょう。

東京都豊島区　福原武洋

図に示したように、パーツを仮合わせした後、外周を4等分した場所にマジック等でしるしをつけ、対角線をむすびます。これを合わせの両面で行ない線の交わったところにドリルで穴をあければよいのです。



■着脱可能

ザクをつくるときのひと工夫。左肩のスパイクアーマーは裏側の軸受けを下図のように削ると、着脱可能となり塗装もラクです。次に5月号のゲルググの首と同じような物ですが図のように首とボディ側を削ると着脱が簡単です。

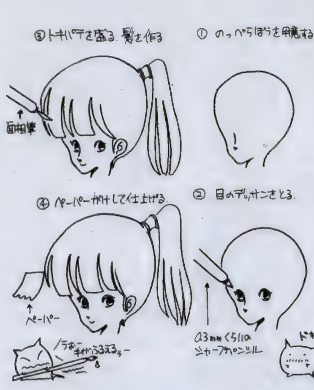
東京都豊島区　小林和弘

専門誌のライターさん達は、塗装のためにこれに近い事をかなりやってるみたいです。プラモ作りは、説明書だけじゃないのです。

■秘伝

皆さん、フィギュアの顔をつくる時どうしていますか？特に「目」。折角フルスクラッチフィギュアを完成させても、目がシールをはったようでは台無し。そこで我サークルに伝わる伝統技術の一つ「窪目作り」を紹介します。まず図のように、鼻だけ作ったのっぺらぼうの顔を作り、目の形を0.3くらいのシャーペンで描き込みます。あとは溶きパテで目のまわりに厚みをつけ、頬や口の形を整えてゆくのです。あとはペーパーがけしてきれいにすると、ほらかわいいフィギュアの出来上り、というわけです。どーだまいったか。

東京都小金井市　金磯直信



細くこねて伸ばした紙粘土を、血管のように貼りつけるというテクニックがありますが、金磯さんのアイデアは、物が大きくなったらこれにつながる考え方です。1／20クラスのフィギュアでは、彫刻刀も使いにくいから、丁度良いアイデアかもしれませんね。

■オリジナルパテ

プラモデルに入っている、チューブ入り接着剤を5～10個集める。次にランナーを1～1.5cmくらいに切り、プラカラーの空きビン等にいっぱいにため、接着剤を入れる。フタをしめて一日待つと原価0円のパテが出来ます。

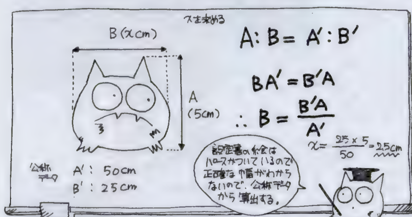
静岡県富士宮市　井上正人

いわゆるプラパテですが、大量に盛りつけさえしなければ（乾くのに結構時間がかかるのです）下地のプラモと材質が同じなので、もっとも喰いつきが良いようです。

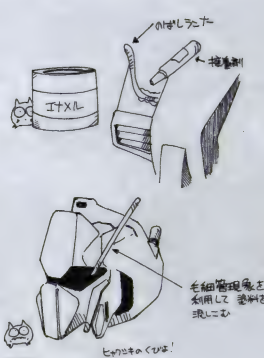
■対比計算

フルスクラッチビルドをするとき、設定資料から寸法をおこすため、対比計算をするそうですが、どうすればいいのですか？

川崎市　長森良男



下図のように、A：B＝A′：B′の式に従い、設定画の前後、幅の実寸を計り、これをA、Bとし、設定全長をつくりたいスケールで割った物をA′として式にあてはめれば、不明のプラモ実寸幅B′が求められるのです。ケースにもよりますし、あまりパースのついていない設定画のときに限ります。



■教えて下さい。

凸モールドを作るときはどうするのですか？また、くぼみの所を塗装するにはどうしたらいいのですか？（例エルガイムの目の部分）

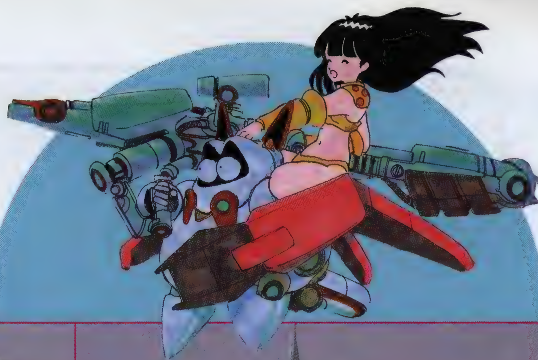
茨城県古河市　秋葉利一

漠然と凸モールドでは意味の解釈に困りますね。例えばスジのような物の場合、伸ばしランナーをアクリル系の接着剤で表面に貼るという手があります。またハッチなどの場合、切り出したプラ板を貼ります。くぼんだ所の塗装にはエナメル系の塗料をつかいます。塗料自体の伸びがよいので、すこしシンナーでうすめて、くぼみにたらせば、毛細管現象で拡がってゆきます。

プラモ個性派倶楽部



プラモ個性派倶楽部



今月は課題のはざまですネェ。どっちかと言うと課題外作品の方が多かったみたいです。

というわけで今回のプラモ個性派倶楽部は個人作品発表風におとどけしてみましょう。

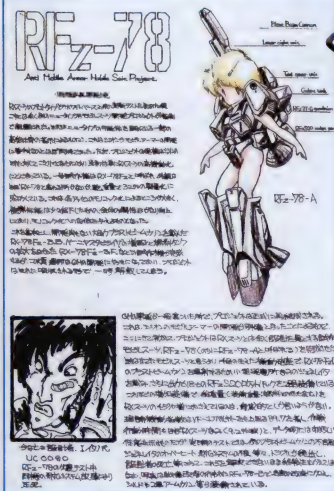






まずは岩手県花巻市の藤原哲さんの作品、ハイザックのキットをベースに作ったＭＳ－07Ｇザク。ハイザックの足と背中のブースターを取り、両アーマーをザクの物に換装、パイプをへらし、ブースターはプロトドムの物を装着、仲々新鮮な印象をうけるモビルスーツです。もう１つはオージェ。本体部を細く、頭はパテでボリュームアップ、右バインダーはオージェタイプを作り、バスターをセット。この所ヘビイメタルの裏側をつくものが増えてきてますが、藤原さんのオージェもその１つみたいですね。も少し色調を美しく。





島根県の石川謙一さんが送ってくれたのは、RFz－78対モビルアーマー用ガンダム。設定がメカファイル風になっているのが面白いですね。パーフェクトガンダムのデザインが、板野一郎氏である事を逆手にとったのは工夫でした。でも設計者を殺さないでネ。



東京都大田区の井出佳秀君(13)が送ってくれたのは、１／144パーフェクトガンダムＭｋIIIレッドウォリアーとオリジナルのバトルガンダム。どちらも１／144ノーマルガンダムがベースとの事。パテ盛りとヤスリがけをていねいに。次に大阪府豊中市の初瀬耕君(12)のは、ナント早くもゼータガンダムのスクラッチ。とにかくもう作ってしまったというエネルギーはスゴイです。これからもガンバッテネ。







新潟県上越市の堀田博文さんのは、１／144キット改修のガンダムＭｋII。頭部、胴、腰、腿の部分をシェイプしているとの事、地味な改造ですが、プラモの基本です。



トビ入りタイム

モデラー紀行でも登場の土信田一善さんのガチャポンバルキリー群団。仕上げも美しくて良。（全種言いあてられますか？）同じくポピー事業部のガチャポン改造のカルバリーテンプルとグルーンまでも……。





久しぶりの登場は、福島県の三星政弘さんの新作、音無響子さんと惣一郎君。スケールは1／12で、いつもながらの出来の良さにスタッフ一同ためいきものでありました。ことにその夏服のスカートの雰囲気たるや、季節感、涼味とも抜群。(うーはやくプリティフィギアの第2弾出したいヨー、編集長）どうも失礼しました。ちょっとした内部のもめ事です。

プラモ個性派倶楽部では、個人の掘り下げた作品もどんどん受けつけておりますので、ジャンルを問わず御送り下さい。



さてまだガンダムＭｋⅡや、その他のゼータガンダム関係の作品が少ないようです。今がチャンス!! 宛て先は〒424静岡県清水市袖師町702 バンダイ模型情報 プラモ個性派倶楽部まで。作品やお便りをお待ちしてまーす。

わちにんこ！ バンダイさん。初めてLETTERします。Zシリーズ、なかなかのデキですね。ハイ・ザックは感動モノですよ。発売ペースも、はやくてGOODです。まちがいなく出される100式とZガンダムについてですけど、100式は〝金ピカM・S〟なんだから、普通の製型色（たぶん黄色ですよね）の他に〝金メッキがしてあるのも出してほしいです。カッコイイと思いますよ！ ZGのほうは変形不可で出してほしい。なぜかといいますと…W・R時の青い部分はF・A時の胸と背中で、腕は中央に動きます。まるでバルキリーでしょう！ だから3D化した時にずえったい無理が生じるはずです。つけかえはイヤダ！ だ・から・F・AとW・Rは別々に出してほしいのです。（うーん、こんなに言いきったのに完全変形ベストプロポーションのZGが出たらどうしよう。バケツをかぶらされてしまうじゃないか!!「暗いよー！ せまいよー！ 恐いよー!!」）それでは模型化希望のモノを書きますです①「ビスマルク」のビスマルク、ロードレオン、アローストライカー、ドナテルロです。ずべったび出してほじい。おまけとしてロードレオン等がつくとなおうれしい！ ②「ステップ・ジュン」の吉之介と雪之嬢です。2体セットで300円！これにジュンがプラスされれば感動しちゃいます。そして最後にMJ別冊についてです。ザブングル、ダンバイン、ガラットの設定集をぜひ！モノクロだけでもかまわないから、おん願いたてまつります！ それとZ・Gの設定集はVOL・1とVOL・2にわけて出して下さい。VOL・1は3月から8月放映分までで、9月発売。VOL・2は9月から放映の終るまでの分で終了後に発売するのです。そうすれば、かなりの量の設定がのせられます！ それに一年間またずに豊富な資料が入手できて、改造に便利だと思うのです！（VOL・1にのったM・Sの新武器がVOL・1発行後に登場したらVOL・2にのせればいいのです）それではバンダイさん第2次（現在はアニメプラモがとびぬけて売れてるとはいえないので）アニメプラモブームがまきおこるような製品を開発していって下さい！ 期待しています!!（この中で希望どうりになるといったら……まるっきりないでしょうねー！ はっきりといおー！「ビスマルク」が「吉之介」がほしいよー！「ステップ・ジュン」はおもしろいで!!）

神奈川県／有野 恵次

★発行が少々遅れてしまった〝別冊・Zガンダム〟ですが、もうご覧になりましたか？第2弾はキャラ特集なのだ。

初めて投稿します。マテリアルへの希望です。マテリアルNo.6として没メカ図面集をやって下さい。今までに企画されながら没になってしまったメカたちの1/144、1/72、1/100等のサイズの図面（三面図、できれば四面図）と細部ディティール、各種装備品（シールド、ライフル等）をのせるのです。スクラッチをする時に、とても便利です。1/144（ダンバインシリーズは1/72）なら1ページで、1/100（1/48）なら見開きで入ると思います。また、塗装の目安として色指定、混合色のパーセンテージ、カラーイラスト等、そして永野先生描きおろしのBテンプル24機、D、E、GテンプルBオージェのイラストを付けるのです（むりだろーな）没メカは、たくさんあります。1/100ギャリア、ブラッカリィ、1/72ライネック、ビアレス1/144ガイラム、アトール、Cテンプル、1/100バッシュ、模型情報59号（84年7月号）にのったザク。そして出そうもない（?）Ⓩの変形モビルアーマーたちとバリュートシステム。とても一冊ではむりなくらいです。出版すれば、よく売れると思います。（ものずきで、買う人もいるでしょう）もちろんこれらのものがキット化された方が嬉しいのです。どうか、よろしくお願いします。P・S 六月に出るマテリアルのZガンダムは、ストーリーの途中までのもの（メカ）しかのらないのですか？

神奈川県横浜市／ひでぶ！

★没メカをフルスクラッチするための詳しい手引き書なんてのがあったらおもしろいね。

唐突ですが、スケールモデラーにとって、最近の模型界は住みにくくなりました。模型店に顔を出すと、そこに来ている大多数の小学生、何を作る（創るではない）のかというと、ほとんどがアニメ・キャラクターかラジコンそれで特にひどい事には、それらの小学生は半数近くが、ラジコンキットを自分自身で組めないのです。それもそのはず、彼らは、プラモはおろかモーターを使ったこともなかった子ばかりなのですから、又、「模型情報」の「ふろーむ…」の欄を見てみましても、右も左もガンダム、エルガイム…と、その他の内容は、皆無に等しい、バンダイさんってアニメキャラ専門メーカーではないですよね。まあ、これはこれで良いことかもしれません。と言うのも、ガンダムからのブームで低年齢モデラーが増えたのですから、特に、今までは極めて少なかった女性モデラーが増えて来たことは、模型業界にとっては嬉しいことでしょう。しかし一方では、長年やって来たスケールモデラーが、これもまた、多く離れていったのは、紛れもない事実です。今日まで模型趣味を支えてきたのは、スケールモデラー層です。この層が貧弱になると言うことは、結果として模型種味、主にプラスティックモデルが世間一般から、ホビーとしての地位を認められる日が遠くなり、最悪の場合には、この世から消滅するやもしれません。これは少し飛躍しているかもしれませんが。スケールモデルに対し、アニメーションや映画のキャラクター・モデルは、一時の流行です。今は栄えていてもいつかはその炎も弱くなるでしょう。この事は、メーカーさん自身よくわかっていらっしゃると思うのです。別に、アニメなどのキャラクターを作る人は正統ではないと思っているわけではありません。今では模型界でも立派にその地位を認められています。し、私自身も偶に気に入ったものを作っています。ただ、それらの影に入って、まったく活気のなくなった、スケールモデルを、見直してほしいのです。バンダイさん1/20の車や1/12オートバイはどうなったのですか？再販ばかりでなく、新製品、お願いします。

後になってしまいましたが、モノグラム製品を、国内販売していただき、誠に嬉しく思っています。ただ一つ疑問なのは、なぜシェビーやサンダーバードなど、モノグラム社が現行製品としているものまでリストに入れるのですか？ それはまあ、それらは人気も高く比較的良く売れるでしょうけれど。モノグラムの輸入品（昨年）価格に対して国内販売は七百円も高いわけです。今年はどうなるかわかりませんが、考えものですねえ。私としましては、なるべく、アストンマーチンなど絶販となっているものを中心に出していただきたかったのです。しかし、カーモデラーには嬉しいことなので、第三弾まででなく、続けてほしく思っています。そうそう、第二弾、首を長くして待っていたらやっと出た。三月中にセーフ。でも何か足りない、そうだコルベット、これは一体…もしかして、ドルが高くなったからでは？さて、このシリーズ中味はと言うと、流石モノグラム、良い出来です。パッケージも少々地味ですがいい感じで、輸入直販のモノグラムブランドと違ってパーツがビニールで保護してあるのは日本ならでは、解説書も丁寧でバンダイの良心的な処が伝わります。もう少し、組立図中に詳しい色指定があると良いのですが。話は変わりますが、「パーキング・エリア」終わってしまったのでしょうか？ あれが一番楽しみで、記事のない月でもMJを買っていたのですが…。ガレージ641の皆さん、モノグラムカーの記事など楽しく読ませていただきました。（展示会にも、毎回顔を出しています）これからも頑張って下さい。それからMJ関係者の方々も素晴らしい記事を期待しています。長年愛読してきたホビー・ジャ○ンは、最近、記事が国語体で書かれる様になって馴染めなくなってしまいました。読者を馬鹿にしているかのように受け取れることもあり、私は古い人間ではないのですが、このような記事を読むに耐えません。その点MJは、とても好感が持てます。そして最後になりましたが、バンダイさん、スケールモデルの新作、重ねて希望します。ねばり強く待ちます。アニメ・キャラクターばかりでなくこちらも忘れないで!!乱筆乱文をお許し下さい。最後まで読んで下さって感謝します。

東京都／吉森 秀喜

★スケールモデラーとかキャラクターモデラーと分けて考えるのは、あまり好きじゃない。模型界を支えているのは、模型ファンです。

今日は、バンダイさんついにZガンダムのデザインが決定しましたね。このZガンダム、飛行体型にトランスフォームするんですね。すっごいですね。TVに出るのはまだ先の様ですけど。TVでは旧ホワイトベースのクルーたちも行動しだして話も盛り上がっていくようです。さて、バンダイさん模型化希望No.4のZガンダムの模型化、現実になると思いますが、完全変形モデルとゆうのはちょっと…。今月のMJに載っているイラストを見る限りでは、今一つ変形パターンがわからないですね。だって「うで」部分がどこにもないんだから（WAVE RIDER時）。これを完全変形の模型化ってのはどー考えても無理な様な…。（でも、バンダイさんだったら出来るかな？）とにかく、プロポーションとギミックを両立させるのは大変だと思います。（特に変形ギミックなんかは…）そこで、こんな案はどうでしょうか。1、1/144の場合、MS体型とWR体型とを別々にキット化して、変形ギミックは捨てて、プロポーションと他のギミックをパーフェクトにする。2、1/100こっちの方に変形ギミックを取り入れてFAとして金属パーツを使用して変形をパーフェクトにする。どう考えても1/144で変形とゆうのは強度的に不安だと思いますから。どうでしょうか、バンダイさん。それからZGで変形とゆうと思いあたるのは、モビル・アーマー。そう！あのメッサーラです。これからもいろいろと変形MAが出てくるらしいけれど、MAの方のキット化はどうなってますか？できたらこっちは1/144変形可能で出してもらいたいのですが。それとMSも

観たい。 だけどうちにはビデオデッキがないっ。 CREAMY MAMI LONG GOOD-BYE

▶兵庫県／川崎吉弘

GANDAM MK-II

▶千葉県／大八木誠

お願いっ!! BANDAIさん GALATTの敵アーモロボイドをキット化して下さいっ!!

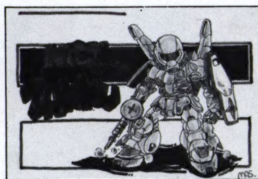
▶兵庫県／野村大

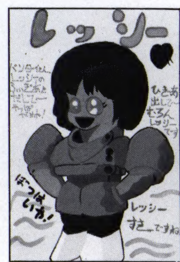
祝 MSV TV初登場

▲神奈川県／比川久樹

▶神奈川県／平柳剛

がんばって出して下さい。ネモとかマラサイとか…ジムIIも忘れずに！もちろん100式も…。とにかくダンバイン、L・GA－Mと中途半端に終わってしまったのでせめてZガンダムだけでも…１／144でいいから…。本当のこと言うと以前Zガンダム放送には、あまり賛成してなかったのです。だけど、まあ、プラモはプラモですし、ガンダムMkIIを買って、その出来にホレてしまったのです。それに、ストーリーはぬきにしても、MSやMAのデザインはすばらしいので。バンダイさん、がんばってアーマーとかハイパーバズーカとか100式のメガ・バズーカ・ランチャーとかはどうなりますか。また武器セットとか。さて話は変わりますが、モデルグランプリの結果が出ましたね。だいたいの結果は予想通りでした。そこで模型化希望No.１のアトールですが、せっかくこの様な投票結果が出たのでしたら、本当にキット化したらどうでしょうか。我々、消費者（モデラー）の生の声であるこの結果。それに答え


▲群馬県／山田雅人



◀福島県／佐々木敦史

てこそ、アンケートを行なった価値があるのではないでしょうか。また、それを実行してこそバンダイさんだと思います。（できることならBEST３までくらいは模型化してほしいのですが。）以上ずいぶん勝手なことを書いてしまいましたが、これからもがんばって、すばらしい模型を作り続けて下さい。応援してます。

東京都新宿区／伊藤　泰輔

★できるならアトールを模型化してほしかった。これは編集部の本音です。何のためのアンケートか！です。

こんにちは、バンダイさん。ぼくは今とってもHAPPYです。なぜって？　それはキャラコレを入手することが出来たからなのです。今まで１個のキャラコレも持っていなかったぼくが、全てのフィギュアを入手することができました。K模型店のおかげです、ハイ。さて話はかわりますが、昨日Zガンダム第10話「再会」が放映されました。ていさつザグが出てきましたが、あれはもしかするとリニアシートをつかっていたのでは？　12話はいっぱいMSVが出てくるとのことで今からワクワクです。また14話にはアクトザクが出てくるとのことで、Zガンダムシリーズとして、アクトザクを出してほしい。横道にそれてしまいましたが、模型化の希望を。「Zを10倍楽しむ本」でZガンダムやメッサーラを変型可能のように…と書いてありましたが、がんばって下さい。特にメッサーラはどちらかというとモビルアーマーがベースなのですから。またギャプランや、アッシアーもがんばって下さい。この巨大な変形モビルアーマーは１／250と１／144で展開して下さい。（１／550では小さすぎる）それと100式のもっていたメガバズーカランチャー、あれも変型できるので出して下さい（１／144で）。それでは、Zガンダムシリーズの充実を期待しています。さようなら。P・S　ハイザックよりMk・IIの方が全然できがいいですねー。P・S・２　やはり武器セットはほしい！　Mk・IIのバズ、ハイザックのビームライフル、ビームサーベル、ヒートホーク、ミサイルポッド、マラサイのバリユートシステムetc……よろしくお願いしまーす!!

埼玉県／バリュート小僧

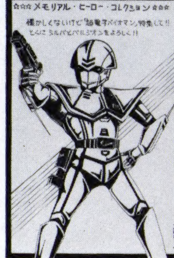

▶愛知県／坂井博紀

★キャラコレは貴重だよ。社内でも見本市用に作ろうと思ったら在庫がなかった。

初めましてバンダイさん。ぼくの悲しいお話を聞いて下さい。実は、ぼくにはあと２人のプラモ友達（A・B）がいるのですが、Bは、ぼくとAに、にらまれているのです。その理由は、バンダイさんのボツの多さです。そのボツの多さがBの毎日がかかっているのです。まあお話ししましょう。話は二年前の今頃の事です。ぼくたちは、そのころダンバインのファンでした。ぼくはライネックの大ファンでした。そしてAはビアレスのファンでした。そしてBはズワースのファンでした。そして３人で模型化を待ってました。そしたらライネック、ビアレスの模型化はまったくありませんとでているじゃありませんか。ぼくとAは泣きたくなる思いになって落ちこみました。Bはあざ笑うようにズワースをいやみにも２つも買いました。そこでぼくたちの友情にヒビがはいりました。そしてそれから１年がたち、エルガイムのファンになったぼくたちは、今度はぼくはアートル、AはC・テンプル、Bはヌーベルをそれぞれ好きになりました。そして結末は同じです。そのことによって２年間による屈辱を味わいました。したがってBはぼくとAにどんな目にあったかは、言うまでもありません。ぼくとAはガンダムにかけています。

神奈川県／ガンダムにかけたぼくとA

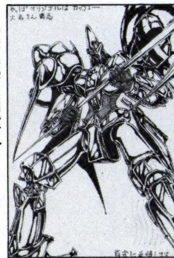
★すみましぇん、そんなに責めないで下さい。

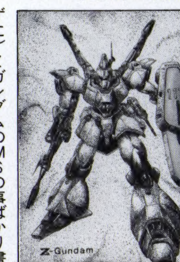


▲大阪市／流離人

今日MJを買って来て、Zガンダムの決定稿を見て、ムム…と思いました。カッコイイのですが、そのカッコ良さが、MSという兵器としてではなく、一昔（５～６年）前のサンライズのアニメのロボットのような感じなのです。でも完全変形のキットを期待しています。他の新MSですが、ネモなんか、スナイパーの発展ぽくて良いですね。マラサイの頭は、ズゴックみたいですね。それから、シャアの乗る百式（名前とマーキングが実にシブイ）は、赤塗装ではないけれど、カスタムっぽくていいです。これらのキット化をお願いします。（ジムIIも忘れずに）Zガンダムの MSの事ばかり書いていると、HMをあきらめたのかというと、そんなことはありません。（今グルーンを作っています。）第２回MGで、ABCコース、グランプリは、予想通りでした。そして模型化希望―、２、３位をHMが独占しました。そしてアトールが第一位に!!だからアトールを出して下さい。（テンプルシリーズもほしい!!）話は変わりますが、特撮ヒーローのコーナーに、いきなりゴレンジャーが出ましたねー。私はテムジンより、黄金仮面と毒ガス仮面の方が印象深いですね。次回からは、巨人物？もやって下さい。例えば、仮面ライダー、ライオン丸、アイアンキング、サンダーマスク、ゾーンファイターなどをやって下さい。（マイナーな方がいいです。）何だか好き勝手なとばかり書いてすみません。P・Sハイザックの一般カラー（青いやつ）を教えて下さい。

長野県長野市／ゼロテスター


▶東京都／堀俊之



◀東京都／木谷隆史

★特撮ヒーローのコーナーは、貴重な写真を載せていきますので、お楽しみに。カラーでないのが残念。

模型情報 7月号

発行人……山科　誠
編集人……加藤　智
構　成……池田　憲章／岩井田　雅行
小田　雅弘／金田　益実
徳木　吉春／安井　尚志
表紙イラスト……開田　裕治
写真撮影……サンフォトサービス社
レイアウト……㈱藤森デザイン事務所

▼「池田さんは今日どちらにいますか」「徳木さんに連絡をとりたいのですが」と人に聞かれる。最近はみんなナッツの事務所に近寄らないし、お互いに連絡もとり合わない。それぞれがお互いの行方をまったく把握できなくなってしまった。ヤバイ！　（岩井田）

▼ナッツは、外国TV映画研究グループなのに、僕は一度も外国へ行ったことがありません。ところが、一緒にニューヨークへ行かない？という話が。とっても嬉しいんだけど、本当にあんな鉄の塊が空を飛ぶんだろうか？ひこーきがこわいョー　（徳木）

★MJマテリアル④「Zガンダム」の訂正であります。63ページでフォウ・ムラサメはニュータイプであると記しましたが、実はフォウも強化人間で、ニュータイプ研究所の四番目であることが名前の由来なのです。不確実な情報をお伝えして申し訳けありませんでした。それから、マウアー・ファラオは新型MSガブスレイで、ジェリドと共に第21話より再登場です。その他データや誤植等がごちゃごちゃあるのですが、再版分で修正しますので、お許し下さい。　（安井）

▼最近のNHKの「テラホーク」をみたら、まるで「マシンマン」のナレーションで、私はブッとんでしまった。せっかく特撮が良くなってきたのに……それでも、私はもちろんゼロ軍曹の熱烈大ファンであります。　（池田）

▼大掃除をしたら、出るわ出るわ不要プラモストックの山。その中にまじってたジェットモグラを、思わず組んでしまいました。動力プラモならではの迫力と醍醐味あり。残りのプラモはどうしたかって？　段ボール箱２はい、おばさんのバザー行きでした。（小田）

▼新入社員の研修で、我編集部にも大学卒の新人がぞろぞろと見学にくる。「学生時代から読んでました」などと言われると、思わず赤面してしまう。そう言えば、今月号でB５サイズ一周年、そして創刊満６周年なのだ。良く続いたものだと感心してしまいました。これからも応援して下さい。　（加藤）

模型情報7月号　昭和60年7月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第7号通巻71号　昭和59年10月26日第3種郵便物認可
発行人・山科誠　編集人・加藤智　印刷・小野美術印刷　発行所・〒424静岡県清水市袖師町702㈱バンダイ静岡工場　電話0543(65)5362(代)　定価一〇〇円

モモとあなたの夢の超大作

堂々完成

オリジナルビデオ巨編
発売7/21
夢の中の輪舞（ロンド）
La ronde in my dream
VHS VTG-132　β VBG-132
¥12,800
カラー90分　ステレオHiFi

Someday Sometime

行方不明になった地球のパパとママを捜すため、南のまんなか島へと急ぐモモ。様々な冒険を体験しながら、遂にその島で発見したのは!?なんと魔王ペーターという青年が支配する子供だけの地底王国。そこにはパパとママの姿も。モモは大人になりたくないという彼らの気持にうたれて、このままそっとしておきたいと思うのだが…
この国を維持する年をとらないパワーが、各国の人工衛星に"謎の超エネルギー"として感知され、全世界の軍隊やスパイが島に続々とやってきたのだ!!

TVシリーズの面白さを、さらにグレードアップした大迫力の劇場用35mm版で製作。使用したセル画4万枚。葦プロがアニメのノウハウを全力投球した夢の超娯楽大作。新しいモモの魅力を満載して、おまけにスルメッチやルピンなど人気ゲストキャラも総出演。プロローグからエンディングまで息をもつけないスーパー・スペシャル・ダイナミックストーリー
さらに、収録時間も80分から90分に延長されて…いよいよ! 7月21日、堂々登場!! モモとあなたの明日はどっちだ!?

みんな/謎の南のまんなか島を捜してね/南のまんなか島は、赤道直下にあります。さてその場所の東経は何度でしょう?
ヒント▶12才のモモが魔法で変身したときの年齢×10=□□□（これが答えで〜す。）

■応募方法：官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、を明記して、下記の住所へお送りください。できれば、ミンキーモモへのご意見・ご希望も書き添えてね!!■締め切り：7/20（消印有効）■あて先：〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18 原宿ピアザビル　ビクター音楽産業㈱第4宣伝グループ　ビクターアニメ情報局「南のまんなか島クイズ」MJ-8B係 ■発表：ビクターアニメ情報局20号（8/1号）バンダイ模型情報8月号の誌上にて発表。■賞品：豪華特製ミンキーモモ・フィギュア（「夢の中の輪舞」オリジナル・パッケージ）、他。■お問い合わせ：ビクターアニメ情報局 TEL03(408)1994

ミンキーモモファンの集い
フェナリナーサ・サミット
We Love Momo

追加公演決定!

新作ビデオの発売を記念して、「フェナリナーサ・サミット」を開催しま〜す。モモの新作情報はもちろん、楽しいイベントやプレゼントがいっぱい。
往復ハガキに住所・氏名・年齢を記入して、アニメ情報局 MJ-8B係までどしどしご応募下さい。もちろん、返信欄にも自分の宛先を。詳しくは、アニメ情報局TEL03(408)1994まで。

♥7/14(日)　東京（渋谷パンテオン）
♥7/21(日)　大阪（大阪青少年ホール）
♥7/21(日)　名古屋（名古屋市芸術創造センター）

予約特典　豪華特製モモ文庫付

MINKY MOMO
STORY BOARD
La rondo in my dream

※戦慄のジャンケン月間：6月の答えは グーでした。

●ミンキーモモ「夢の中の輪舞」ビデオテープのお問い合わせは、ビクター音楽産業(株)TEL03(405)5151まで。

★新主題歌「夢の中の輪舞」（歌：志賀真理子）KV3068 ¥700 ビクター音楽産業(株)より好評発売中!

MINKY MOMO

©葦プロ

【STAFF】
- ●原案/構成……首藤剛志
- ●監督/絵コンテ……湯山邦彦
- ●演出……馬場 健
- ●作画監督……渡辺ひろし
- ●キャラクターデザイン…芦田豊雄
- ●音楽……渡辺敬之

【CAST】
- ●ミンキーモモ……小山茉美
- ●パパ……納谷六郎
- ●ママ……土井美加
- ●ペーター……難波圭一
- ●シンドブック……田ノ中勇
- ●ピピル……三田ゆう子

発売元
バンダイグループ
(株)ネットワーク
フロンティア事業部
販売元
ビクター音楽産業(株)

魔法のプリンセス
ミンキーモモ

ミンキーモモ「夢の中の輪舞」のプロモーションビデオは、このお店で!■北海道地区：（札幌）山野楽器東急店・玉光堂4丁目店・玉光堂ホールニューメディア店・そうご電器YES店・（旭川）ミレコード部（帯広）及川本店■東北地区：（福島）さ・らんど（秋田）キャッスル新星堂（仙台）三立一番町店（盛岡）盛岡レコードクラブ（山形）ミュージック昭和（いわき）帝都無線平店■関東甲信越地区：（大宮）ヤンレイ大宮店・大宮ヤマギワ電気（志木）新星堂志木ららぽーと（川越）山野楽器川越店（伊勢崎）N.N.ナカジマレコード（千葉）新星堂柏カルチェ5・中村屋駅前店 ヤンレイ松戸店 山野楽器千葉パルコ店 新星堂市原店（高崎）新星堂高崎店（前橋）新星堂前橋店（宇都宮）新星堂オリオン店（小山）ヤンレイ小山店（飯田）平安堂（松本）ビデオボックス（長岡）島津レコード（新潟）石丸電気新潟店（船橋）ディスクポート西武船橋店・ヤンレイ船橋店■東京：（銀座）山野楽器本店（新宿）山野楽器新宿小田急店・帝都無線新宿店・帝都無線紀伊国屋店・コタニ本店（池袋）新星堂アルパ店・山野楽器池袋パルコ店・ディスクポート西武池袋店・ビデオポート西武（高田馬場）ムトウ楽器本店（秋葉原）石丸電気本店・石丸電気ビデオセンター・石丸電気6号店・ヤマギワ本店・ヤマギワソフトショップ（北千住）ヤマギワ北千住店（お茶の水）ウィクトリアレコードセンター（渋谷）ディスクポート西武渋谷店・山野楽器東急東横店（吉祥寺）山野楽器サンロード店・新星堂SC店（立川）新星堂立川ウィル店・帝都無線立川店（町田）鈴木楽器本店（蒲田）コタニ蒲田店（甲府）ディスクポート西武甲府店（横浜）ヤマギワ横浜店・新星堂ジョイナス・ヨコチク地下街店・ヨコチクシャル音楽館（川崎）帝都無線川崎店（茅ヶ崎）新星堂茅ヶ崎ルミネ店（厚木）すみや厚木■中部地区：（静岡）すみや本店（浜松）ディスクポート西武浜松店（名古屋）王音堂大名古屋店・ヤマギワメルサ店・音楽堂栄地下店栄ノヴァ名豊ミュージック（金沢）山蓄片町店（福井）ディスクポート西武福井店（富山）フクロヤ本店（豊橋）ヤマト楽器ステーションビル店（岐阜）昭美堂（松阪）村林楽器店（岡崎）井野屋■関西地区：（梅田）阪急イングス・大月楽器本店・アニメポリスペロ・ダイガ・紀伊国屋書店レコード売場（心斎橋）ミヤコアニメック心斎橋（千里中央）ミヤコ千里中央（北千里）ミヤコ北千里（南千里）ミヤコ南千里（樟葉）ワルツ堂くずは店（東淀川）サウンドエム淡路店（豊中）交声堂駅前（高槻）エリート（京都）十字屋四条店・十字屋河原町店・十字屋京都近鉄（大和高田）ワルツ堂大和郡山・啓林堂（元町）神戸大丸レコード売場（三宮）三宮ハレックス・星電社三宮本店・星電社サンチカ店（尼崎）新響楽器本店（芦屋）大蓄芦屋店（和歌山）イワキ本店■中国四国地区：（広島）ダイイチ本店・ダイイチソフトランド店・アニメック・アニメイト・帝都無線広島店（呉）音響堂ジャスコ店（徳山）スズヤ楽器銀座店（山口）OK無線AVセンター（出雲）アツタリズム店（高松）タマル本店（松山）明星書店本店（高知）細川レコード■九州地区：（福岡）新星堂・ヨシタ楽器本店（小倉）デオニー（大分）リズムレコード（長崎）コタニ（佐世保）平和堂・川下本店（熊本）帝都無線（宮崎）西村楽器本店（鹿児島）十字屋

魔法の天使 クリィミーマミ　好評発売中!!
「ロング・グッドバイ」
●カラー53分 ステレオHifi ¥9,800
スタジオぴえろ製作のアニメ巨編。中学1年生になる優が、とても魅力的な100%ピュアオリジナル作品。
©スタジオぴえろ・NTV

【7月発売予定の新作アイテム】

VHD　7月21日
- 超時空要塞マクロス①……カラー 50分 ¥8,800
- スペース1999①……カラー115分 ¥9,800

VIDEO　7月28日
- プリズナーNo.6 ④……カラー100分 ¥13,800
- 恐怖劇場アンバランス③……カラー100分 ¥12,800
- サンダーバード⑥……カラー100分 ¥13,800
- ダロス総集編(NGフィルム付)…カラー 90分 ¥12,800

LD
- マイティジャック①……カラー100分 ¥ 9,800
- スペース1999②……カラー115分 ¥ 9,800
- サンダーバード③……カラー105分 ¥ 9,800

●お問合わせ☎(03)468-8211
●販売代理店 株式会社AE企画
●発売元 バンダイグループ
㈱ネットワーク・フロンティア事業部
東京都渋谷区神山町10-3 〒150

EMOTION